

## (6回路シーンコントローラー)

※対象品番は仕様欄をご参照ください。

**お客様へ** このたびは、大光電機製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。本説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。施工には電気工事士の資格が必要です。必ず販売店・工事店にご依頼ください。本説明書は大切に保管してください。

**工事店様へ** 施工前によくお読みのうえ、正しく施工してください。本説明書は必ずお客様にお渡しください。

## 目次

### はじめに

- 安全上のご注意・・・・・・・・・・ P.2

### シーンコントローラーについて

- シーンコントローラーとは・・・・・・・・ P.3
- 仕様・・・・・・・・・・・・・・・・ P.3
- 各部の名称とはたらき・・・・・・・・ P.4
- コントローラーのモードについて・・・・ P.5
- コントローラーのモードを切り替える・・ P.6

### <シーンコントローラーモード編>

- 各シーンの明るさを設定する・・・・ P.7・8
- シーンを切り替える・・・・・・・・ P.9
- 明るさを一時的に変える(個別点灯)・・・ P.10

### <ライトコントローラーモード編>

- 明るさを設定する・・・・・・・・ P.11
- 回路を呼び出す・・・・・・・・ P.12

### <シーンコントローラーモード・ライトコントローラーモード共通編>

- OFFタイマーを設定する・・・・・・・・ P.13
- フェードタイムを設定する・・・・ P.14
- ボタンによる操作を無効にする(キーロック)・・・・・・・・ P.15
- リモコンチャンネルを切り替える・・ P.16
- リモコンをご使用になる前に・・・ P.17・18
- 照明器具のランプ交換について・・・・ P.19
- 故障かな?と思ったら・・・・・・・・ P.19
- シーンの設定表・・・・・・・・ P.20
- 点検とお手入れについて・・・・ P.20
- 保証について・・・・・・・・ P.20
- 商品についてのご相談・・・・・・・・ P.20






## 安全上のご注意






必ずお守りください。




●人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明します。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して説明しています。

■お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。(下図は図記号の一例です。)

 <b>警告</b>	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。		実行しなければならない内容です。
 <b>注意</b>	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。	 	してはいけない内容です。

 <b>警告</b>	
 <b>厳守</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●異常を感じた場合、速やかに電源を切る 火災・感電の原因となります。異常がおさまったことを確認したのち、工事店、お買い上げの販売店または弊社「CSセンター」にご相談ください。</li> </ul>	 <b>禁止</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●器具に荷重をかけたり、布や紙等の可燃物で覆わない 火災・感電・落下の原因となります。</li> <li>●器具の近くにストーブ等の温度の高くなるものを置かない 火災の原因となります。</li> </ul>
 <b>禁止</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●周囲温度5～35℃以外では使用しない 火災の原因となります。</li> </ul>	 <b>分解禁止</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●器具の改造、部品の変更は行わない 火災・感電・落下等の原因となります。</li> </ul>

 <b>注意</b>	
 <b>厳守</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●器具には寿命があります。 設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換してください。 ※目安として、使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間使用。 周囲温度が高い場合、使用時間が長い場合は、寿命が短くなります。</li> <li>●3年に1回は、工事店等の専門家による点検をお受けください。 点検せずに長時間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電等に至るおそれがあります。</li> </ul>	 <b>厳守</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●お手入れの際は、必ずブレーカーを切る シーンコントローラーのON/OFFボタンで消灯状態にしても電源は切れないため、感電の原因となります。</li> <li>●器具の取外しは工事店、販売店に依頼する 器具の取外しには資格が必要です。</li> </ul>

## シーンコントローラーとは

- 本製品は、屋内専用6回路調光器です。回路はそれぞれ、白熱灯・LEDなど位相調光方式の照明器具及び蛍光灯などのPWM調光方式照明器具に対応しております。
  - 本製品には6つのシーンを記憶・再生するシーンコントローラーモードと、シンプルな負荷回路のON/OFF操作が出来るライトコントローラーモードの2つの機能を標準で搭載しております。設置される場所や用途によって、最適な機能を選択して使用できます。
  - 本製品は付属のリモコン送信機で、シーンの切替え（または回路のON/OFF）操作ができます。
  - 本製品は、別売の適合部品との接続を行う事が出来ます。シーンコントローラー子器（DP-39094）、位相制御ブースター（DP-39095）、PWM制御ブースター（DP-39096）との接続・増設が可能です。
- ※操作方法については、下記ウェブサイトもご参照ください。



6回路シーンコントローラー  
かんたん！ガイド(操作編)

[https://www2.lighting-daiko.co.jp/support/function/pdf/controller\\_guide\\_circuits\\_operation.pdf](https://www2.lighting-daiko.co.jp/support/function/pdf/controller_guide_circuits_operation.pdf)

## 仕様

品番は器具のラベルをご参照ください。

品名	6回路シーンコントローラー	
品番	DP-39093	
定格電圧	交流 100V	
周波数	50/60Hz共用	
使用温度／相対湿度	5～35℃／40～85%RH	
回路数	6回路(位相制御・PWM制御)	
記憶シーン数	6シーン	
OFFタイマー	10・30・60秒・10・30・60分から設定	
シーン・回路の切替時間	0～60秒の範囲で設定(1秒単位/初期設定3秒)	
負荷容量	断熱施工なし	900VA
	断熱施工あり(※1)	450VA
適合調光信号線(※2)	CPEV-1P φ0.9～1.2(シールド付)	
適合LANケーブル(※3)	カテゴリ5以上 STPケーブル ストレート(EIA/TIA-568B)	

※1：接続負荷ではなく、本器取付壁面が断熱施工の場合です。

※2：1回路あたり最大100m以内で使用してください。

※3：総配線長50m以内で使用してください。

- スイッチボックス取付専用です。〔4個用スイッチボックス(カバー付)金属製〕
- 適合照明器具専用です。
- 子器、ブースターを使用する場合は、必ず適合子器、ブースターを使用してください。

### <適合部品(別売)>

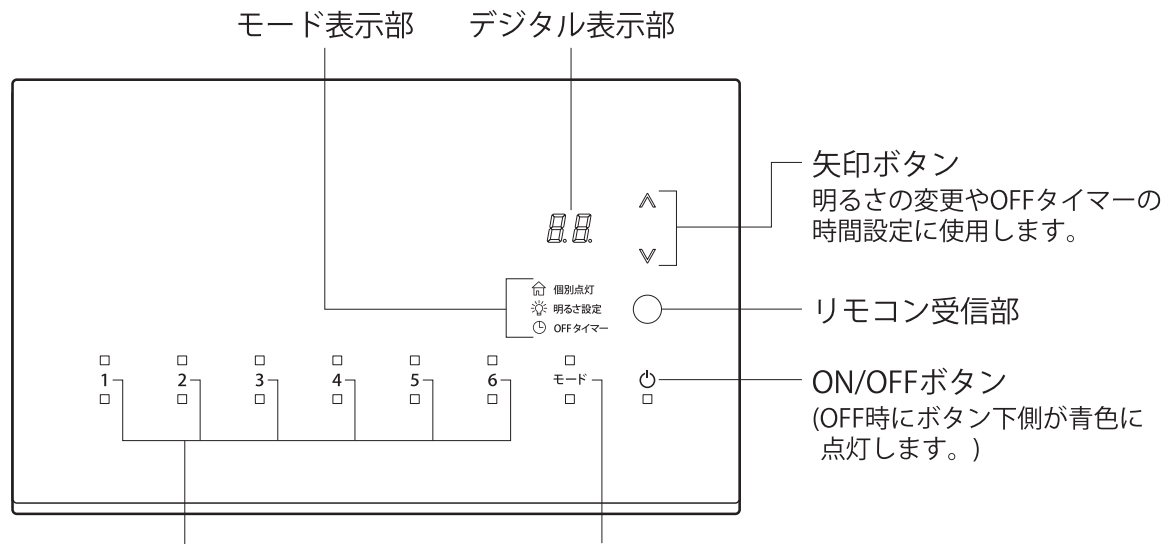
品名	品番	
6回路シーンコントローラー子器	DP-39094	
6回路シーンコントローラーブースター	位相制御	DP-39095
	PWM制御	DP-39096

## 各部の名称とはたらき

### 6回路シーンコントローラー本体

※ボタンはタッチ式なので、指で触れるだけで操作できます。

※下図は、簡略した図です。



**シーン・回路選択ボタン**  
 シーンを呼び出す時や、回路を選択する時に使用します。  
 (ボタン上側はオレンジ色、下側は青色に点灯します。)

**モードボタン**  
 機能の呼び出しや、設定を変更する時に使用します。  
 (ボタン上側はオレンジ色、下側は青色に点灯します。)

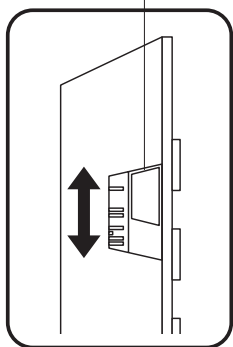
**矢印ボタン**  
 明るさの変更やOFFタイマーの時間設定に使用します。

**リモコン受信部**

**ON/OFFボタン**  
 (OFF時にボタン下側が青色に点灯します。)

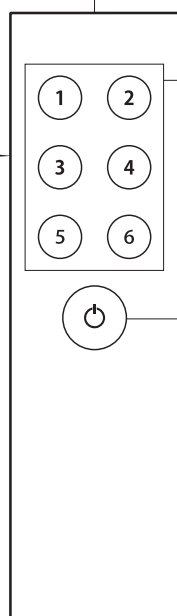
### リモコン送信機

リモコンチャンネル切替スイッチ



※リモコンチャンネルの切り替え方法はP.16をご参照ください。

送信部

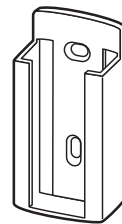


**シーン・回路切替ボタン**  
 シーンを呼び出す時や、回路を選択する時に使用します。

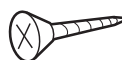
**ON/OFFボタン**

#### 付属部品

取付けする前にもまず付属部品をご確認ください



□リモコンホルダー



□サラ木ネジ(2本)



□単3形電池(2本)

## コントローラーのモードについて

- 本製品には6つのシーンを記憶・再生するシーンコントローラーモードと、シンプルな負荷回路のON/OFF操作が出来るライトコントローラーモードの2つの機能を選択して使用できます。

### <シーンコントローラーモードで使う場合の動作>

- 回路ごとの明るさを6つのシーン内に記憶し、1～6のボタンを押すことによりそれぞれのシーンを呼び出すことができます。

※シーン別設定例



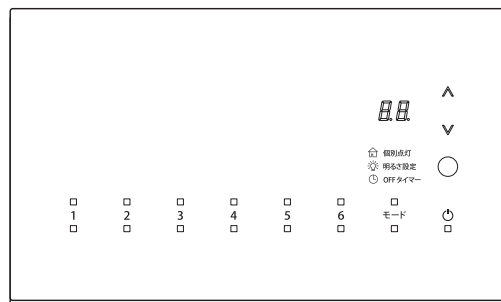
日常のあかり



団らんのあかり



作業のあかり



シアターのあかり



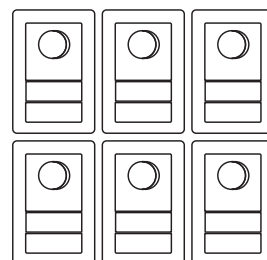
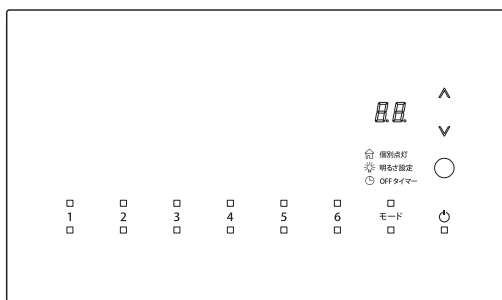
夕方のあかり



くつろぎのあかり

### <ライトコントローラーモードで使う場合の動作>

- 6つの回路を個別に操作することができます。
- 各回路の明るさをそれぞれ記憶し、1～6のボタンを押すことにより個別に再生します。

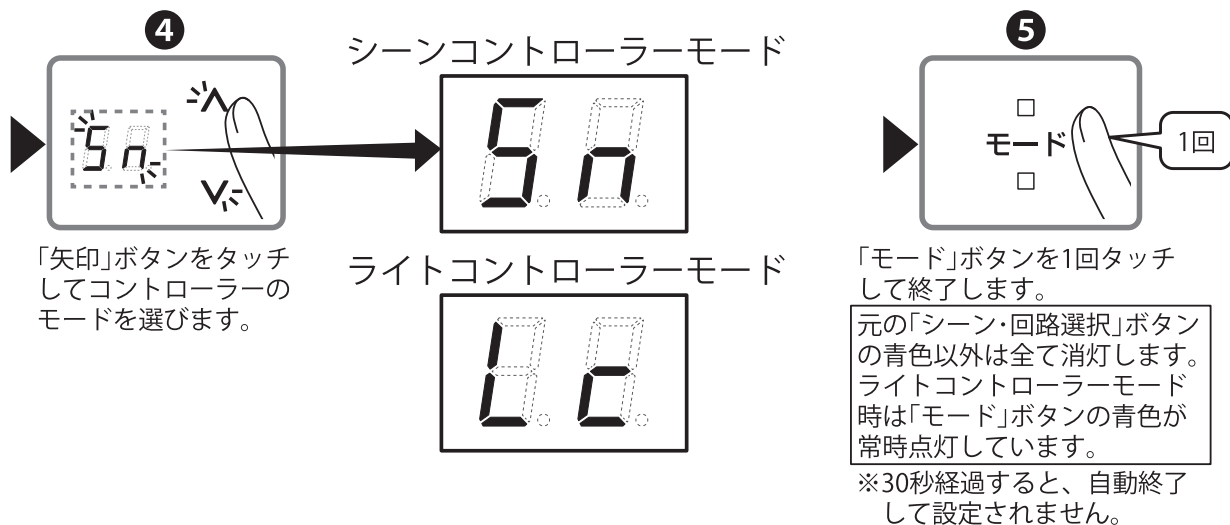
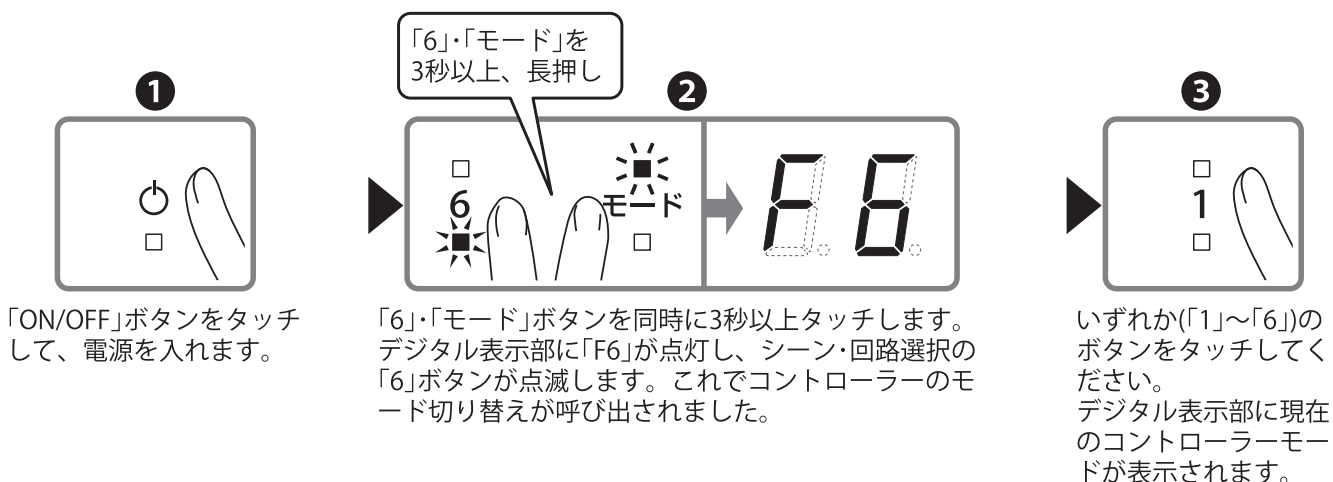
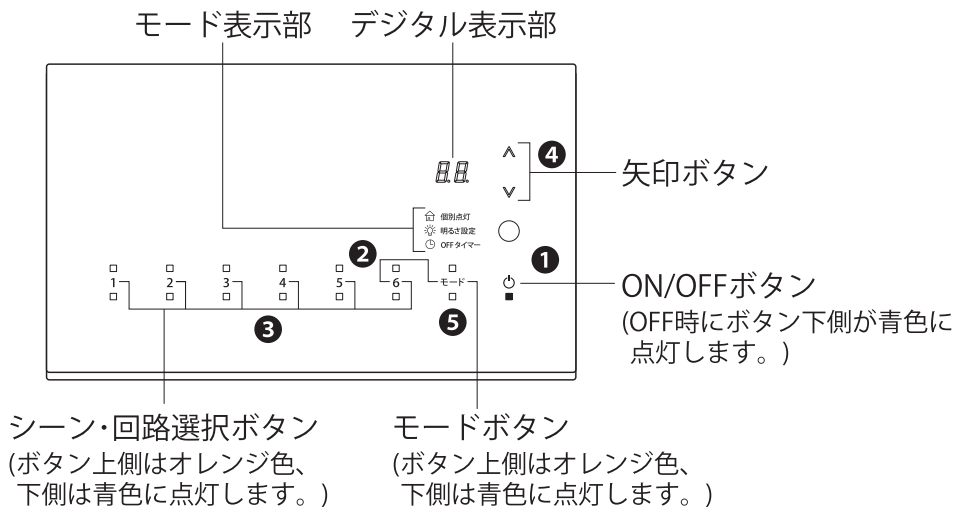


調光器6台と同じような感覚で使用できます。

## コントローラーのモードを切り替える

- ここでは、コントローラーのモード切替方法について説明します。
- ※ライトコントローラーモードでは連動機能は使用できません。

### コントローラーのモードを切り替える



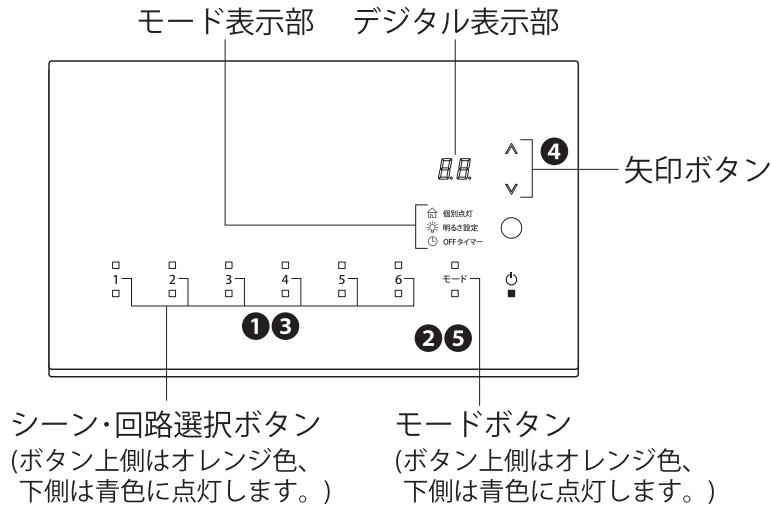
シーンコントローラーモードの場合、P.7へ

ライトコントローラーモードの場合、P.11へ

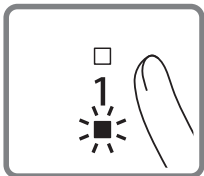
## 各シーンの明るさを設定する

●各シーンの明るさを回路ごとに設定します。

※明るさ設定をする前に負荷設定を確実に行ってください。(施工説明書 P.S12参照)

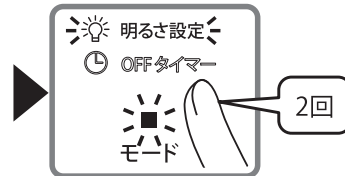


①



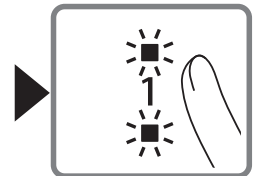
シーンを設定します。  
「1」～「6」ボタンをタッチして設定するシーンを選びます。

②



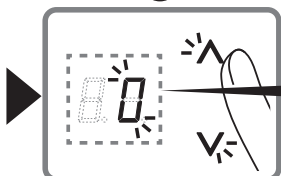
「モード」ボタンを2回タッチして「明るさ設定」にします。

③



明るさを変更したい回路(「1」～「6」)のボタンをタッチして選択します。

④



「矢印」ボタンをタッチして明るさを変更(設定)します。  
明るさの変更範囲は負荷によって変わります。  
※各回路の明るさを設定する場合は、③～④を繰り返します。

L 1 LED調光モード



※100%は「FF」と表示されます。

L 3 ON-OFFモード



※100%は「FF」と表示されます。

L 5 LED調色・調光/  
温調/調光モード



※100%は「FF」と表示されます。

LED調色・調光モードの詳しい操作説明は次頁をご覧ください。

L 2 白熱灯調光モード



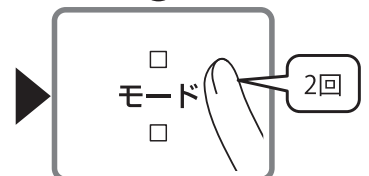
※100%は「FF」と表示されます。

L 4 蛍光灯調光モード



※100%は「FF」と表示されます。

⑤



「モード」ボタンを2回タッチして終了します。  
設定した「シーン・回路選択」ボタンの青色以外は全て消灯します。  
※30秒経過すると、自動終了して設定されません。  
※各シーンの明るさを設定する場合は、①～⑤を繰り返します。

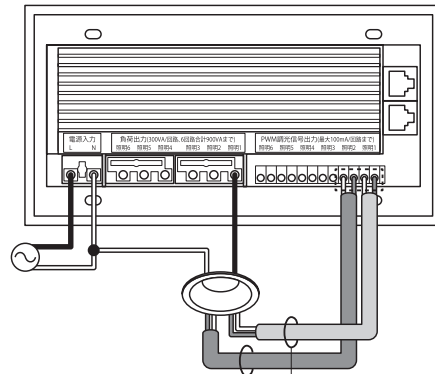
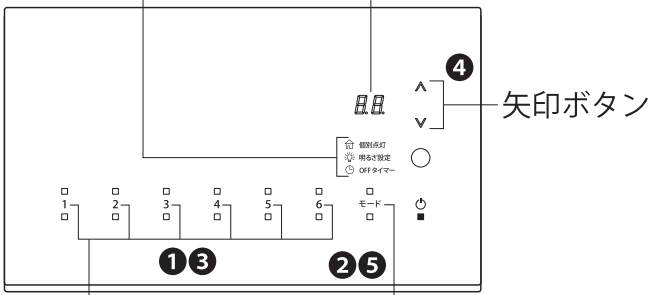


# <シーンコントローラーモード編>

※LED調色・調光モード(L5)時の設定方法です。

回路1に調光、回路2に調色を配線し、シーン1を設定する場合の操作例です。

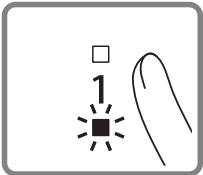
モード表示部 デジタル表示部



シーン・回路選択ボタン (ボタン上側はオレンジ色、下側は青色に点灯します。)      モードボタン (ボタン上側はオレンジ色、下側は青色に点灯します。)

## 回路1：調光 明るさを設定する

1



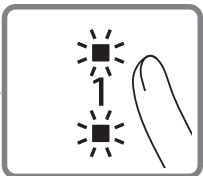
シーンを選択します。「1」ボタンをタッチしてシーン1を選びます。

2



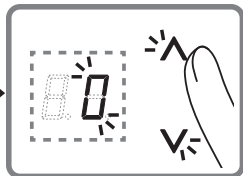
「モード」ボタンを2回タッチして「明るさ設定」にします。

3



「1」ボタンをタッチして調光回路を選択します。

4

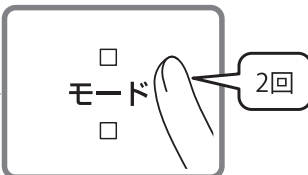


「矢印」ボタンをタッチして明るさを変更(設定)します。



※100%は「FF」と表示されます。

5



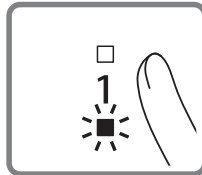
「モード」ボタンを2回タッチして終了します。

選択した「シーン・回路選択」ボタンの青色以外は全て消灯します。

※30秒経過すると、自動終了して設定されません。

## 回路2：調色 光色を設定する

1



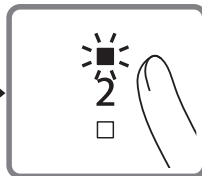
シーンを選択します。「1」ボタンをタッチしてシーン1を選びます。

2



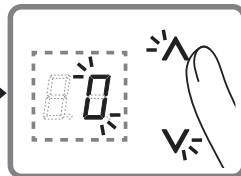
「モード」ボタンを2回タッチして「明るさ設定」にします。

3



「2」ボタンをタッチして調色回路を選択します。

4

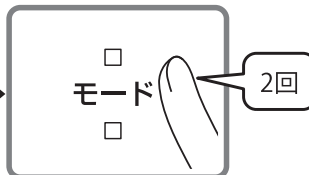


「矢印」ボタンをタッチして光色を変更(設定)します。



※昼白色は「FF」と表示されます。

5



「モード」ボタンを2回タッチして終了します。

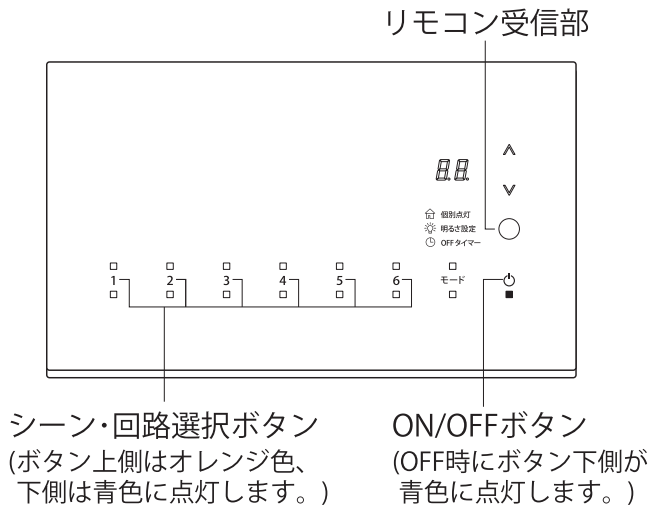
選択した「シーン・回路選択」ボタンの青色以外は全て消灯します。

※30秒経過すると、自動終了して設定されません。



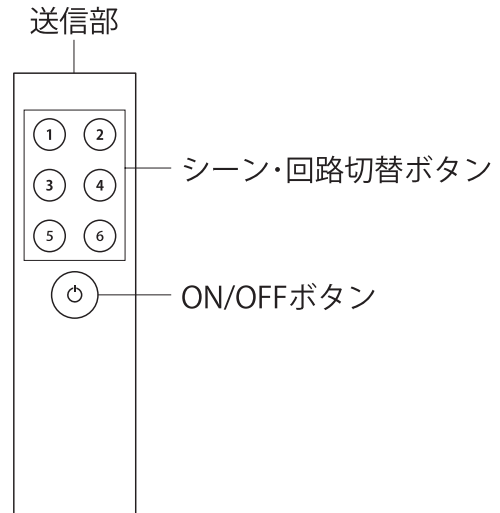
## シーンを切り替える

### 6回路シーンコントローラー本体



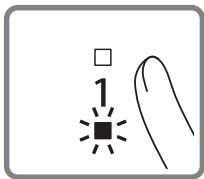
### リモコン送信機

※送信部をリモコン受信部に向けて操作してください。



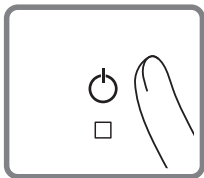
## シーンを切り替える

### 6回路シーンコントローラー本体



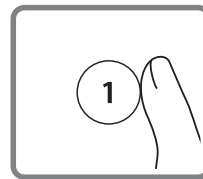
呼び出したいシーンの「1」～「6」  
ボタンをタッチします。  
電源が入り、シーンが切り替わ  
ります。

<前回使用したシーンを呼び出す場合>



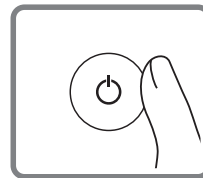
「ON/OFF」ボタンをタッチします。  
電源が入り、前回使用したシーン  
が呼び出されます。

### リモコン送信機



呼び出したいシーンの「1」～「6」  
ボタンを押します。  
電源が入り、シーンが切り替わ  
ります。

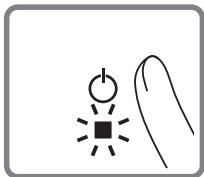
<前回使用したシーンを呼び出す場合>



「ON/OFF」ボタンを押します。  
電源が入り、前回使用したシーン  
が呼び出されます。

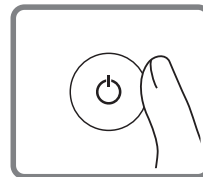
## 電源を切る

### 6回路シーンコントローラー本体



「ON/OFF」ボタンをタッチして、電  
源を切ります。  
※電源が切れるまでの間は、「シー  
ン・回路選択」ボタンと「ON/OFF」  
ボタンは両方点灯します。  
※OFFタイマーを設定している場  
合は、「ON/OFF」ボタンはOFFタ  
イマー設定時間が経過するまで  
青色に点滅します。  
その間「シーン・回路選択」ボタ  
ンは青色に点灯しています。  
OFFタイマー設定時間が経過す  
ると消灯します。

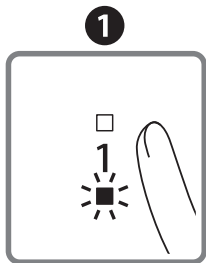
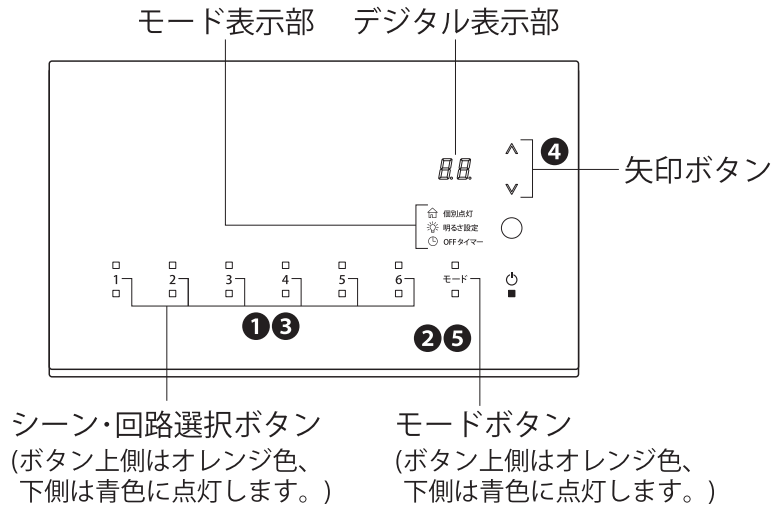
### リモコン送信機



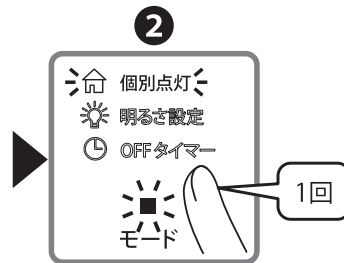
「ON/OFF」ボタンを押して、  
電源を切ります。

## 明るさを一時的に変える(個別点灯)

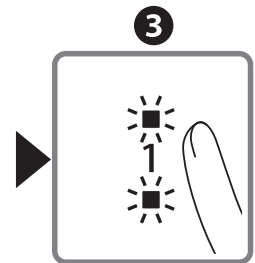
●シーンの設定を変更することなく、回路ごとの明るさを一時的に変更できます。  
※終了すると元のシーンの明るさに戻ります。



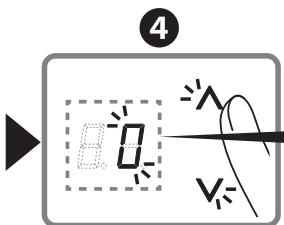
「1」～「6」ボタンをタッチしてシーンを呼び出します。



「モード」ボタンを1回タッチして「個別点灯」にします。

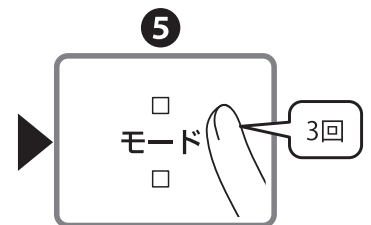


明るさを変更したい回路(「1」～「6」)のボタンをタッチして選択します。



「矢印」ボタンをタッチして明るさを変更します。  
明るさの変更範囲は負荷によって変わります。

<p>L 1 LED調光モード</p> <p>00 ~ FF</p> <p>暗い 明るい</p> <p>※100%は「FF」と表示されます。</p>	<p>L 2 白熱灯調光モード</p> <p>00 ~ FF</p> <p>暗い 明るい</p> <p>※100%は「FF」と表示されます。</p>
<p>L 3 ON-OFFモード</p> <p>00 / FF</p> <p>オフ オン</p> <p>※100%は「FF」と表示されます。</p>	<p>L 4 蛍光灯調光モード</p> <p>00 ~ FF</p> <p>暗い 明るい</p> <p>※100%は「FF」と表示されます。</p>
<p>L 5 LED調色・調光/温調/調光モード</p> <p>00 ~ FF</p> <p>暗い 明るい</p> <p>※100%は「FF」と表示されます。</p>	



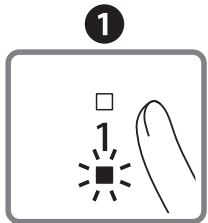
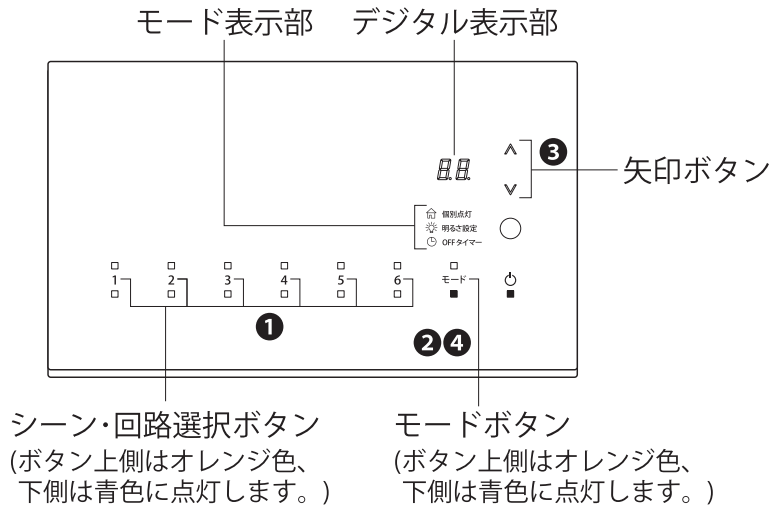
「モード」ボタンを3回タッチして終了します。  
元の「シーン・回路選択」ボタンの青色以外は全て消灯します。

## 明るさを設定する

●各回路の明るさを設定します。

※ライトコントローラーモードでは連動機能は使用できません。

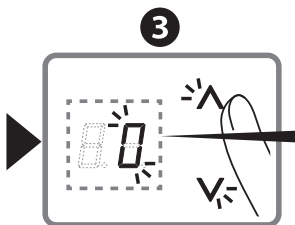
※明るさ設定をする前に負荷設定を確実に行ってください。(施工説明書 P.S12参照)



回路を選択します。  
「1」～「6」ボタンをタッチして設定する回路を選びます。

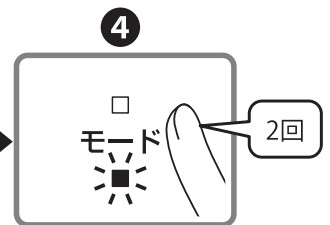


「モード」ボタンを1回タッチして「明るさ設定」にします。



「矢印」ボタンをタッチして明るさを変更(設定)します。  
明るさの変更範囲は負荷によって変わります。

<p>LED調光モード</p> <p>8.0 ~ FF</p> <p>暗い 明るい</p> <p>※100%は「FF」と表示されます。</p>	<p>白熱灯調光モード</p> <p>8.0 ~ FF</p> <p>暗い 明るい</p> <p>※100%は「FF」と表示されます。</p>
<p>ON-OFFモード</p> <p>8.0 / FF</p> <p>オフ オン</p> <p>※100%は「FF」と表示されます。</p>	<p>蛍光灯調光モード</p> <p>8.0 ~ FF</p> <p>暗い 明るい</p> <p>※100%は「FF」と表示されます。</p>
<p>LED調色・調光/ 温調/調光モード</p> <p>8.0 ~ FF</p> <p>暗い 明るい</p> <p>※100%は「FF」と表示されます。</p>	<p>LED調色・調光モードの 詳しい操作説明はP.8を ご覧ください。</p>



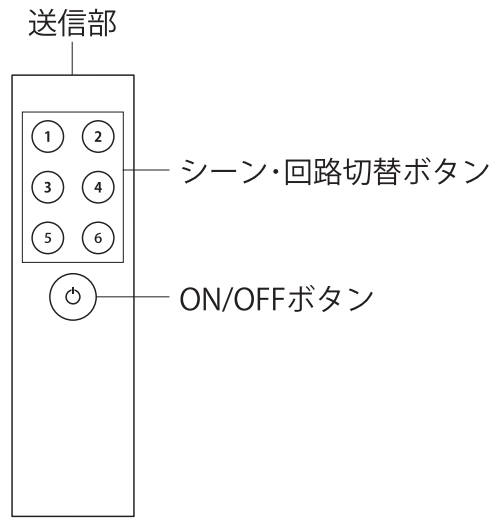
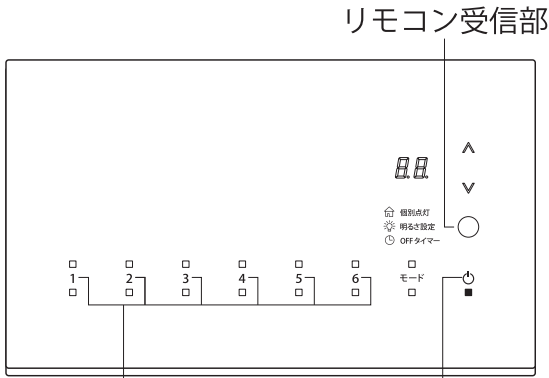
「モード」ボタンを2回タッチして終了します。  
選択した「シーン・回路選択」ボタンの青色と「モード」ボタンの青色以外は全て消灯します。  
※30秒経過すると、自動終了して設定されません。

回路を呼び出す

6回路シーンコントローラー本体

リモコン送信機

※送信部をリモコン受信部に向けて操作してください。



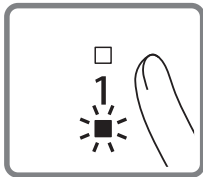
シーン・回路選択ボタン  
(ボタン上側はオレンジ色、  
下側は青色に点灯します。)

ON/OFFボタン  
(OFF時にボタン下側が  
青色に点灯します。)

回路を呼び出す

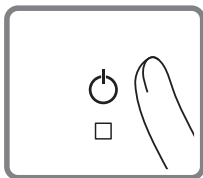
6回路シーンコントローラー本体

リモコン送信機

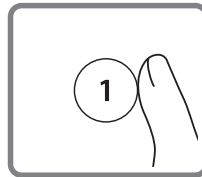


呼び出したい回路の「1」～「6」ボタンをタッチします。  
電源が入り、回路が呼び出されます。  
呼び出された回路のボタンを再びタッチすると消灯します。

<前回使用したシーンを呼び出す場合>

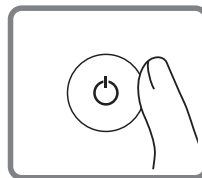


「ON/OFF」ボタンをタッチします。  
電源が入り、前回使用した回路が呼び出されます。  
呼び出された回路のボタンを再びタッチすると消灯します。



呼び出したい回路の「1」～「6」ボタンを押します。  
電源が入り、回路が呼び出されます。  
呼び出された回路のボタンを再び押しすと消灯します。

<前回使用したシーンを呼び出す場合>

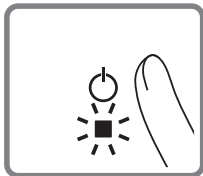


「ON/OFF」ボタンを押します。  
電源が入り、前回使用した回路が呼び出されます。  
呼び出された回路のボタンを再び押しすと消灯します。

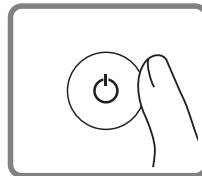
電源を切る

6回路シーンコントローラー本体

リモコン送信機



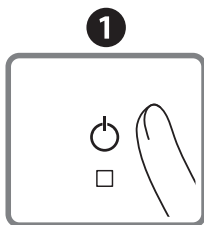
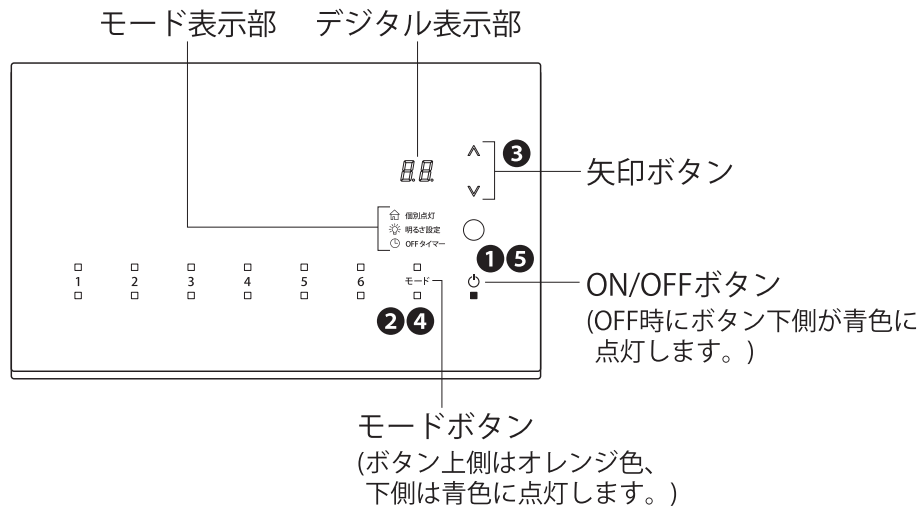
「ON/OFF」ボタンをタッチして、電源を切ります。  
※電源が切れるまでの間は、「シーン・回路選択」ボタンと「ON/OFF」ボタンは両方点灯します。  
※OFFタイマーを設定している場合は、「ON/OFF」ボタンはOFFタイマー設定時間が経過するまで青色に点滅します。  
その間「シーン・回路選択」ボタンは青色に点灯しています。  
OFFタイマー設定時間が経過すると消灯します。



「ON/OFF」ボタンを押して、電源を切ります。

## OFFタイマーを設定する

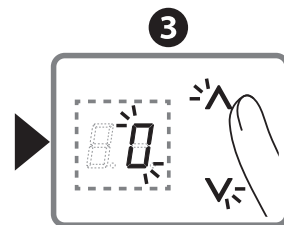
- OFFタイマーを設定すると、電源をOFFにした際、設定した時間が経過した後に消灯します。  
〔初期設定：0秒(OFFタイマーが設定されていない状態です。)]



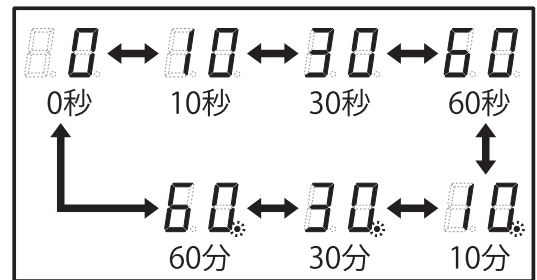
「ON/OFF」ボタンをタッチして、電源を入れます。



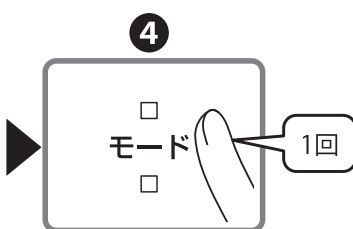
「モード」ボタンをタッチして「OFFタイマー」にします。  
(シーンコントローラー時は3回、ライトコントローラー時は2回タッチしてください。)



矢印ボタンをタッチして消灯までの時間を変更(設定)します。



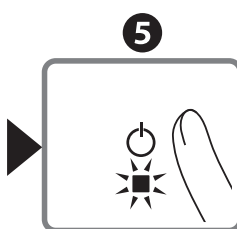
※分表示の場合はコンマが点灯します。



「モード」ボタンを1回タッチして終了します。

元の「シーン・回路選択」ボタンの青色以外は全て消灯します。ライトコントローラーモード時は「モード」ボタンの青色が常時点灯しています。

※30秒経過すると、自動終了して設定されません。

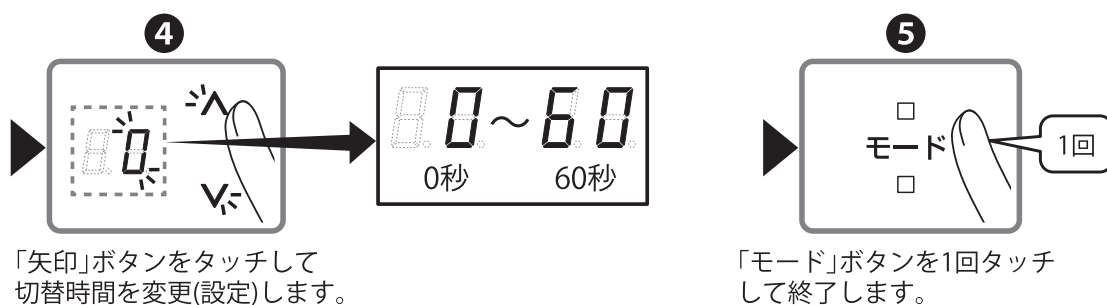
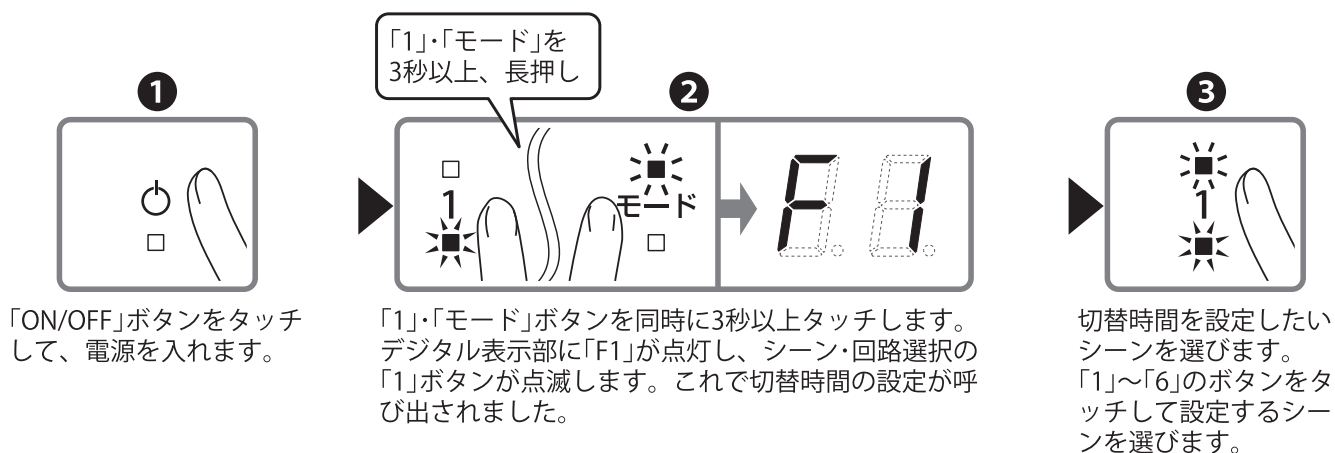
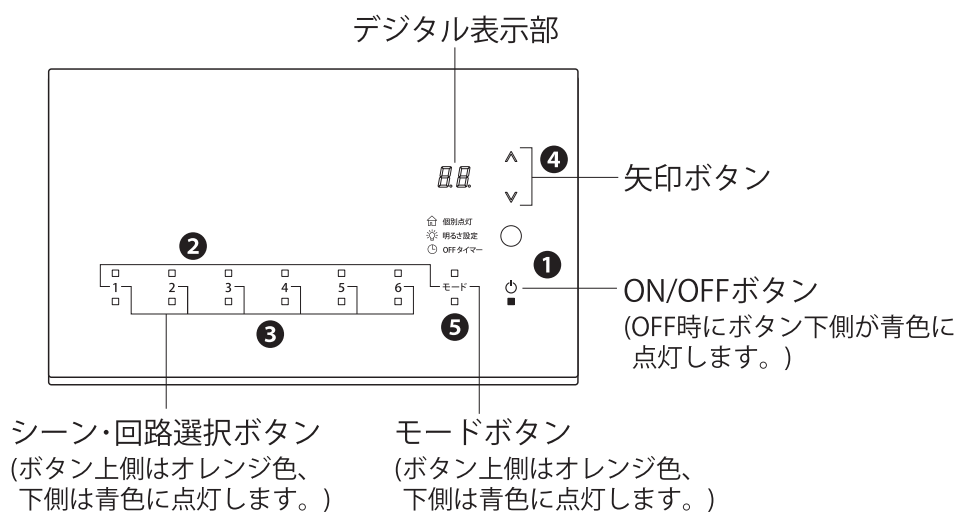


「ON/OFF」ボタンをタッチして、電源を切ります。OFFタイマーが作動します。

設定時間が経過している間「ON/OFF」ボタンが青色に点滅します。点滅中に再度「ON/OFF」ボタンをタッチすると、OFFタイマーを待たずに強制終了します。

## フェードタイムを設定する

- シーンまたは、回路が切り替わる時間(フェードタイム)を0~60秒の範囲で設定ができます。  
〔初期設定：3秒〕

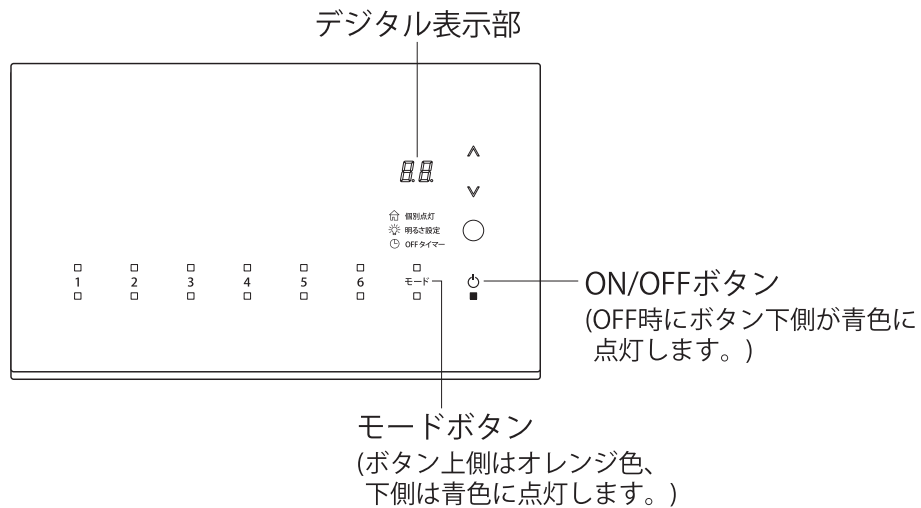


元の「シーン・回路選択」ボタンの青色以外は全て消灯します。ライトコントローラーモード時は「モード」ボタンの青色が常時点灯しています。

※30秒経過すると、自動終了して設定されません。

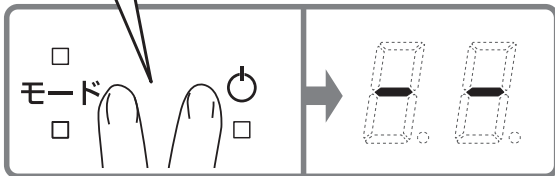
## ボタンによる操作を無効にする(キーロック)

- ボタンによる操作を無効にし、誤動作を防ぐことができます。
  - 付属のリモコン操作はキーロック中でも受け付けます。
- ※この機能は、停電などで電源が切れると解除されます。  
復旧後、キーロック機能をご使用になる場合は、再度設定してください。



### キーロックを設定する

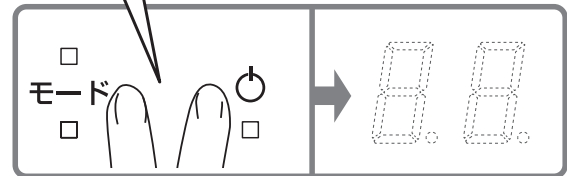
「モード」・「ON/OFF」を3秒以上、長押し



「モード」・「ON/OFF」ボタンを同時に3秒以上タッチします。  
デジタル表示部に「--」が点灯します。  
これでキーロックが設定されました。

### キーロックを解除する

「モード」・「ON/OFF」を3秒以上、長押し



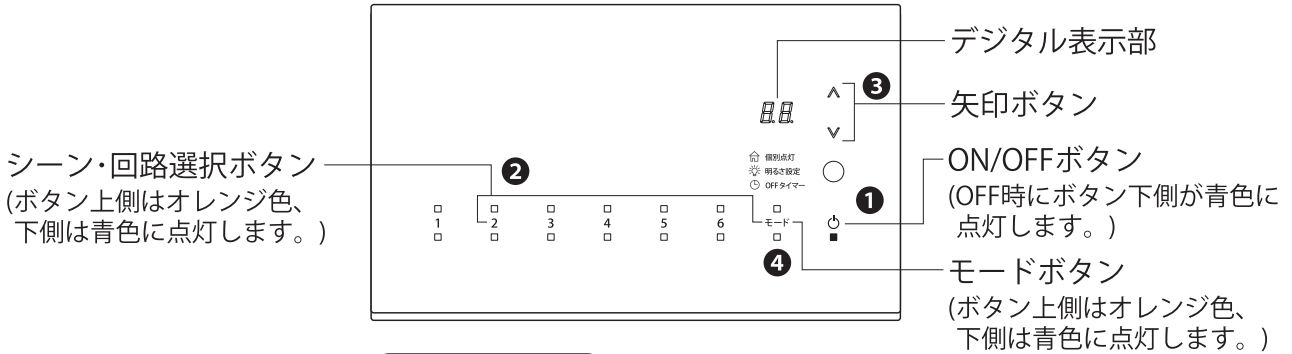
「モード」・「ON/OFF」ボタンを同時に3秒以上タッチします。  
デジタル表示部が消灯します。  
これでキーロックが解除されました。



## リモコンチャンネルを切り替える

- リモコンチャンネルを切り替えることで、リモコン1つで複数台のシーンコントローラーを操作することができます。〔初期設定：リモコンチャンネル1〕

### シーンコントローラー本体のリモコンチャンネルを切り替える



**1**

「ON/OFF」ボタンをタッチして、電源を入れます。

**2**

「2」・「モード」を3秒以上、長押し

「2」・「モード」ボタンを同時に3秒以上タッチします。デジタル表示部に「F2」が点灯し、シーン・回路選択の「2」ボタンが点滅します。これでリモコンチャンネル切り替えが呼び出されました。

**3**

「矢印」ボタンをタッチしてリモコンチャンネルを切り替えます。

デジタル表示部: F2

リモコンチャンネル1    リモコンチャンネル2

**4**

「モード」ボタンを1回タッチして終了します。

元の「シーン・回路選択」ボタンの青色以外は全て消灯します。  
ライトコントローラー時は「モード」ボタンの青色が常時点灯しています。

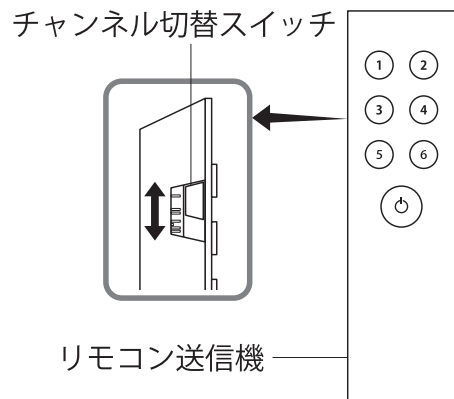
※30秒経過すると、自動終了して設定されません。

### リモコン送信機のチャンネルを切り替える

6回路シーンコントローラーのリモコンチャンネルにリモコン送信機のチャンネル切替スイッチを合わせます。

- I : チャンネル1
- II : チャンネル2
- III : チャンネル1・2※

※IIIはチャンネル1・2を同時に操作することができます。

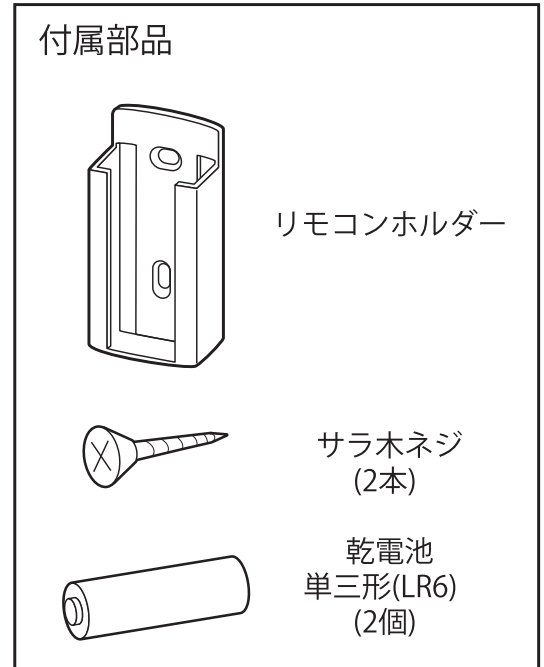
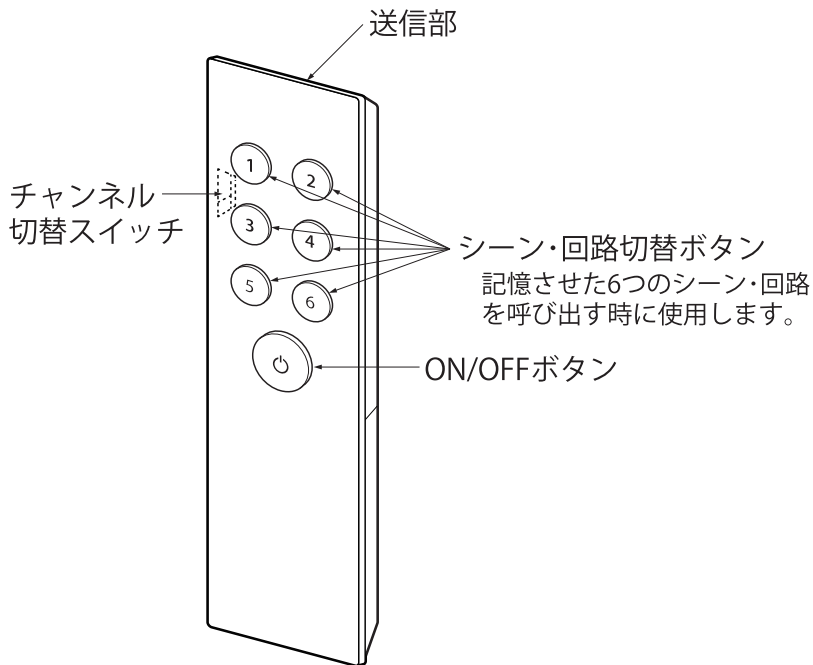


## リモコンをご使用になる前に

- リモコンを準備してください。

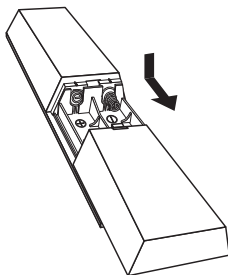
※下図は、簡略した図です。

### リモコン送信機

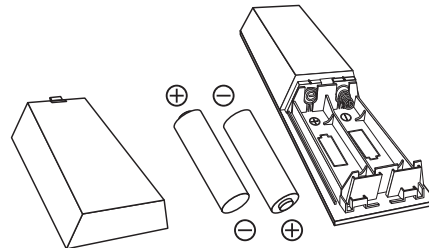


- リモコンに電池を入れます。(※付属の電池は動作確認用です。)

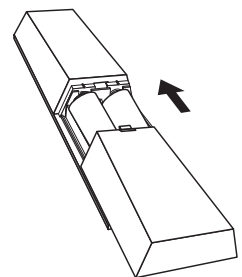
1 裏側のフタを軽く押しなが  
ら、スライドさせます。



2 電池は、単三形(LR6)2本を極性を  
合わせて入れてください。



3 カチッと音がするまでフ  
タを押し込んでください。

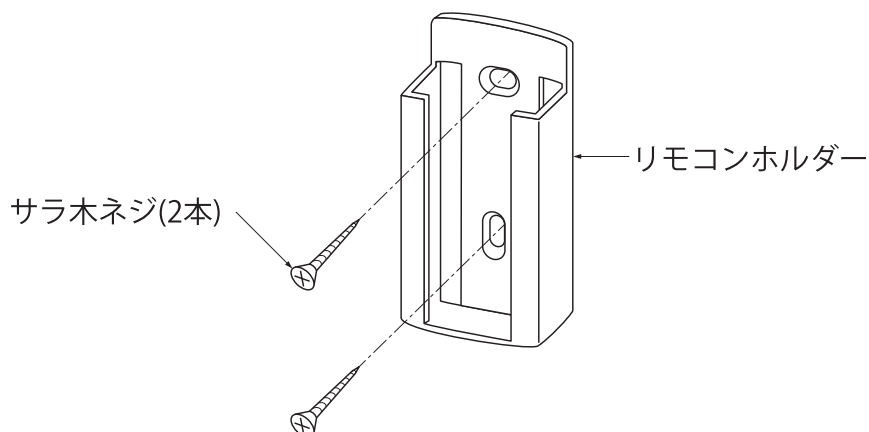


### ⚠ 警告

- 電池の⊕⊖の向きを正しく確認し、接続してください。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
- 種類の違う電池を混ぜて使用しないでください。
- 電池を加熱・分解・ショートさせないでください。
- 電池を火の中に投入しないでください。
- 充電式電池を使用しないでください。
- 長期間ご使用にならないときは、電池を取出してください。

●リモコンホルダーを取付ける。

リモコンホルダーをサラ木ネジ(2本)で壁面の補強材のある位置に取付ける。



●リモコンの受信範囲

- ・リモコン送信部を受信部に向けて操作する。
- ・受信距離は直線で約3m。

⚠ 警告



厳守

次のような場所では使わないでください。故障の原因となります。

- 高温(常時35℃以上)なところ
- 多湿(風呂場等)なところ
- 水のかかるところ
- 薬品、油、ホコリの多いところ

※受信部はリモコン信号(赤外線)を直接受信します、以下のような所で使用しますと、信号が遮断されたり受信できない場合があります。

- ・受信部の近くにガラスや壁の遮へい物があるところ。
- ・ネットやガラス等、光を減衰または反射するものがあるところ。

## 照明器具のランプ交換について

- 照明器具のランプ交換の際、ブレーカーによって機械的に電源を切ってから行ってください。
- ※シーンコントローラーのON/OFFボタンで消灯状態にしても電源は切れていません。

### ⚠ 警告



厳守

機械的に電源を切らない場合、感電の原因となります。

## 故障かな？と思ったら

現象	考えられる原因	処置
操作できない	電源が切れている。	電源を入れてください。
	照明器具のランプが切れている。	照明器具のランプを交換してください。
	キーロックが設定されている。	キーロックを解除してください。 (ボタンによる操作を無効にする P.15参照)
触ると熱い	表面温度は50℃ぐらいまで上がることがあります。 これは正常です。	——
うなり音がする	本器はわずかにうなり音がします。 これは正常です。	——
調光できない	負荷設定が間違っている。	照明器具によって設定が異なります。お買い上げの工事店等にお問い合わせください。
	調光できない照明器具を使用している。	お買い上げの工事店等にお問い合わせの上、照明器具を調光可能なタイプに交換してください。
		そのまま「ON/OFF対応」で使用してください。
あかりがちらつく	適合外の照明器具を使用している。	お買い上げの工事店等にお問い合わせの上、適合の照明器具に交換してください。
リモコンが操作できない	リモコンの電池が消耗している。	リモコンの電池を交換してください。 (リモコンをご使用になる前に P.17参照)
	リモコンの電池が正しく入っていない。	リモコンの電池を正しく入れてください。 (リモコンをご使用になる前に P.17参照)
消灯しない	OFFタイマーが作動中になっている。	OFFタイマーを解除してください。 (OFFタイマーを設定する P.13参照)
	シーン・回路の切替時間が長く設定されている。	シーン・回路の切替時間を短く設定してください。 (フェードタイムを設定する P.14参照)
子器が操作できない (子器のON/OFFボタンが点滅している)	子器のキーロックが設定されている。	子器のON/OFFボタンを3秒以上長押ししてキーロックを解除してください。
子器・ブースターの表示部が点滅している	シーンコントローラー連動機能が設定されている。	シーンコントローラー連動機能を解除してください。(施工説明書 P.S14参照)
	本器との接続が間違っている。	本器との通信不良のおそれがあります。お買い上げの工事店等にお問い合わせください。

## シーンの設定表

	回路1	回路2	回路3	回路4	回路5	回路6	フェードタイム
負荷設定							
シーン1							
シーン2							
シーン3							
シーン4							
シーン5							
シーン6							

## 点検とお手入れについて

安全のため、電源を切ってから行ってください。

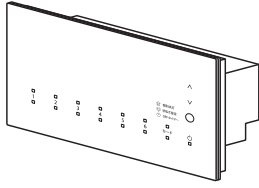
- 明るく安全に使用するために6ヶ月に1回程度、点検および清掃を行うことをおすすめします。
  - ・ 正常に点灯しますか。
  - ・ 壁面との取付部、各製品の合わせ目に異常なガタツキ、ゆるみはありませんか。
  - ・ 異常な臭い、音、発熱はありませんか。
  - ・ パネル等にひび、割れ、変形等が発生していませんか。
- 汚れがひどい場合は、薄めた中性洗剤を含ませた布をよく絞って拭き、洗剤が残らないように水を含ませた布で2度拭きした後、乾いた柔らかい布で仕上げてください。  
※シンナー、ベンジン等の揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色・破損の原因となります。

## 保証について

- この商品の保証期間は3年です。詳細は弊社カタログをご参照ください。  
※保証期間の例外  
24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期間とします。
- 保証書について  
保証書が必要な場合は、弊社「CSセンター」までお申し出ください。
- 補修用性能部品の保有期間  
弊社は照明器具の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。  
補修用性能部品(同等の機能を有する代替品含む)とは、その製品を維持するために必要な部品です。

## 商品についてのご相談

CSセンター (0570)003-937(ナビダイヤル 全国共通) へご連絡ください。  
受付時間(月~金曜)9:00~17:00 土・日・祝日、夏季、年末年始休業日は受付していません。



## (6回路シーンコントローラー)

※対象品番は仕様欄をご参照ください。

### お客様へ

このたびは、大光電機製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。  
本説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。  
ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。  
施工には電気工事士の資格が必要です。必ず販売店・工事店にご依頼ください。  
本説明書は大切に保管してください。

### 工事店様へ

施工前によくお読みのうえ、正しく施工してください。  
本説明書は必ずお客様にお渡しください。

## 目次

### はじめに

- 安全上のご注意・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.S2

### シーンコントローラーについて

- 仕様・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.S3
- 接続できる照明器具(負荷)について・・・・・・・・・・・・・・・・ P.S3

### 施工について

- 施工前の確認・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.S4
- 施工上に関するお願い・・・・・・・・・・・・・・・・ P.S4
- 各部の名称・・・・・・・・・・・・・・・・ P.S5
- 配線図・・・・・・・・・・・・・・・・ P.S6
- 施工手順・・・・・・・・・・・・・・・・ P.S7～S10
- 点灯確認・・・・・・・・・・・・・・・・ P.S11

### 負荷の設定方法 **!** 正常に動作させるために必ず行ってください。

- 負荷設定をする・・・・・・・・・・・・・・・・ P.S12

### システム拡張について

- シーンコントローラー同士を連動させる場合（シーン連動）・・・・ P.S13・S14

### 適合負荷について

- 適合負荷・・・・・・・・・・・・・・・・ P.S15

- 故障かな？と思ったら・・・・・・・・・・・・・・・・ P.S16



## 安全上のご注意

必ずお守りください。

●人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明します。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して説明しています。

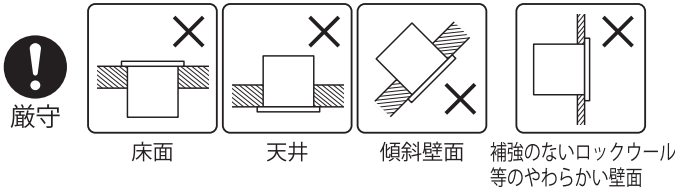
■お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。(下図は図記号の一例です。)

<p> <b>警告</b> 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。</p> <p> <b>注意</b> 「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。</p>	<p> 実行しなければならない内容です。</p> <p>   してはいけない内容です。</p>
--	--


### 警告


#### ●取付面

- 指定場所以外には取付けない  
火災・落下の原因となります。
- ※この器具は壁面取付専用(埋込式)です。




- 取付面の強度を確保する  
取付面が強度不足の場合、落下の原因となります。

-  ●湿気の多い場所や屋外では使用しない  
火災・感電の原因となります。
- ※この器具は非防水です。


-  ●ガス機器等の温度の高くなるものの近くに取付けない  
火災の原因となります。

#### ●その他

- 取付けは器具本体表示または本説明書に従って確実に  
行う  
取付けに不備があると、火災・感電・落下の原因となります。
- 交流100ボルトで使用する  
過電圧を加えると過熱し、火災・感電の原因となります。
- 電源線は端子台の差込穴の奥まで確実に差し込む  
差し込みが不完全な場合、火災・感電の原因となります。
-  ●LANケーブル・コネクタは最後まで確実に差し込む  
差し込みが不完全な場合、火災・操作不良の原因となります。
- 器具を壁面の造営材・ダクト等の設備に接触させない  
火災・感電の原因となります。
- 屋内配線の電源・LANケーブル等は器具に接触させない  
火災・感電の原因となります。
- 当社製適合照明器具を使用する  
指定以外の照明器具と組み合わせて使用すると、火災・  
故障の原因となります。
- ※照明器具の注意事項については、照明器具の説明書をご確認ください。

### 注意

- 器具には寿命があります。  
設置して8~10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換してください。  
※目安として、使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間使用。  
周囲温度が高い場合、使用時間が長い場合は、寿命が短くなります。
- 3年に1回は、工事店等の専門家による点検をお受けください。  
点検せずに長時間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電等に至るおそれがあります。

-  ●取付面が充分乾燥してから器具を取付ける  
乾燥が不十分な場合、器具のメッキ部や塗装部が侵されたり、絶縁不良の原因となります。
- リモコンを落としたり、踏まない  
故障の原因となります。



## 仕様

品番は器具のラベルをご参照ください。

品名	6回路シーンコントローラー	
品番	DP-39093	
定格電圧	交流 100V	
周波数	50/60Hz共用	
使用温度／相対湿度	5～35℃／40～85%RH	
回路数	6回路(位相制御・PWM制御)	
記憶シーン数	6シーン	
OFFタイマー	10・30・60秒・10・30・60分から設定	
シーン・回路の切替時間	0～60秒の範囲で設定(1秒単位/初期設定3秒)	
負荷容量	断熱施工なし	900VA
	断熱施工あり(※1)	450VA
適合調光信号線(※2)	CPEV-1P φ0.9～1.2(シールド付)	
適合LANケーブル(※3)	カテゴリ5以上 STPケーブル ストレート(EIA/TIA-568B)	

※1：接続負荷ではなく、本器取付壁面が断熱施工の場合です。

※2：1回路あたり最大100m以内で使用してください。

※3：総配線長50m以内で使用してください。

●スイッチボックス取付専用です。〔4個用スイッチボックス(カバー付)金属製〕

●適合照明器具専用です。

●子器、ブースターを使用する場合は、必ず適合子器、ブースターを使用してください。

<適合部品(別売)>

品名	品番	
6回路シーンコントローラー子器	DP-39094	
6回路シーンコントローラーブースター	位相制御	DP-39095
	PWM制御	DP-39096

## 接続できる照明器具(負荷)について

●接続する負荷によって負荷設定をする必要があります。

「負荷」とはシーンコントローラーに接続する照明器具のことを指します。

●リモコン照明器具、センサー機能付照明器具、プルレス機能付照明器具は接続できません。

●1回路に違う種類の負荷を混在させないでください。必ず同じ負荷を接続してください。  
(負荷の種類は下記をご参照ください。)

●他社製の蛍光灯、LED照明器具、電子トランスは接続できません。

●当社指定以外のLEDランプは接続できません。

●シーンコントローラーの6回路総負荷容量は900VA(※450VA)までです。  
(※取付壁面が断熱施工時の負荷容量です。)

●各回路に接続できる負荷容量は、種類により異なります。

※適合負荷はP.S15、負荷設定の方法はP.S12をご参照ください。

●負荷の種類

L1：LED調光(位相制御)モード

L2：白熱灯調光モード

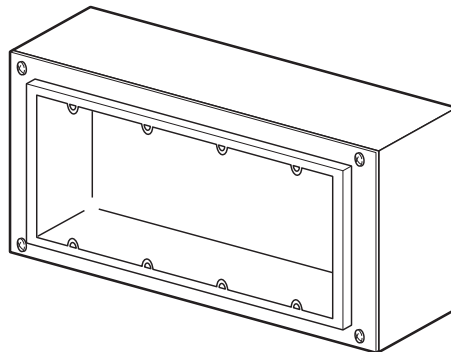
L3：ON-OFFモード

L4：蛍光灯調光(PWM制御)モード

L5：LED調光・調色/温調/調光(PWM制御)モード

## 施工前の確認

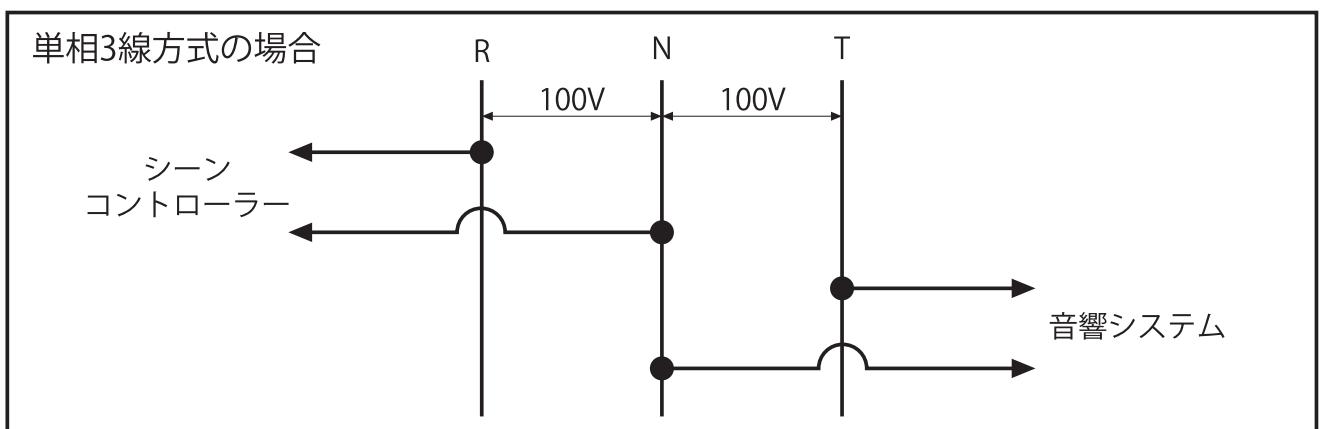
- 器具の取付けにはスイッチボックス(市販品)を使用してください。  
※樹脂のスイッチボックスは使用できません。



4個用スイッチボックス(カバー付)  
金属製

## 施工上に関するお願い

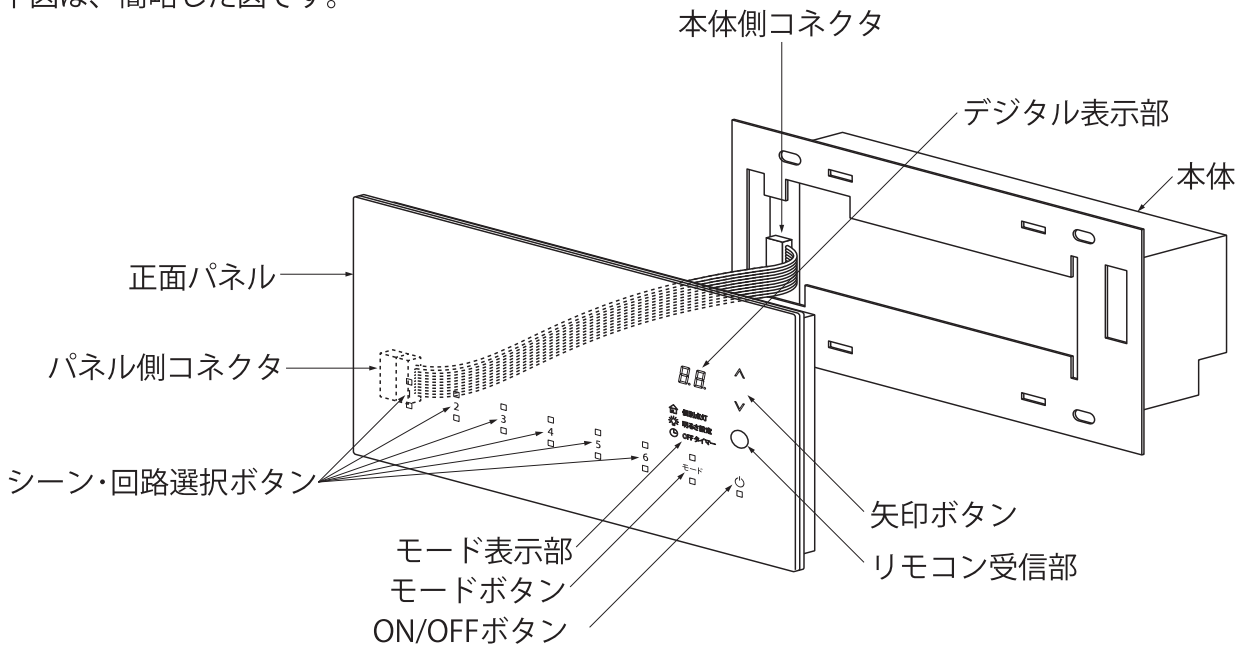
- 負荷出力は絶対に短絡させないでください。本器が故障する原因となります。
- 電源線、負荷線、調光信号線、LANケーブルの配線を間違えないようにしてください。  
本器、照明器具が故障する原因となります。
- 調光信号線はCPEV-1P φ0.9~1.2(シールド付)を使用し、1回路あたり100m以内で使用してください。
- LANケーブルはカテゴリ5以上STPケーブルストレート(EIA/TIA-568B)を使用し、総配線長50m以内で使用してください。
- 本器は単相100V専用です。
- 本器は雑音防止装置を内蔵していますが、ラジオや音響システムに雑音障害を及ぼす場合がありますので、下記の対策を実施してください。
  - ※シーンコントローラーと音響システムは別の電源にしてください。または電源を別相にしてください。
  - ※シーンコントローラーと音響システムやアンテナ、配線、アース線とは1m以上離してください。
  - ※音響システムのアースを確実にとってください。



- 電源が単相3線式で、消費電力が1kw以上の機器がある場合は、その機器とは電源を別相にしてください。  
電源波形にひずみが生じ、照明がちらつく場合があります。

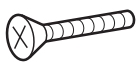
## 各部の名称

※下図は、簡略した図です。

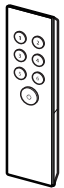


### 付属部品

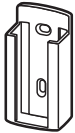
取付けする前にまず付属部品をご確認ください



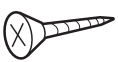
□ 取付ネジ(4本)



□ リモコン送信機



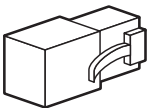
□ リモコンホルダー



□ サラ木ネジ(2本)



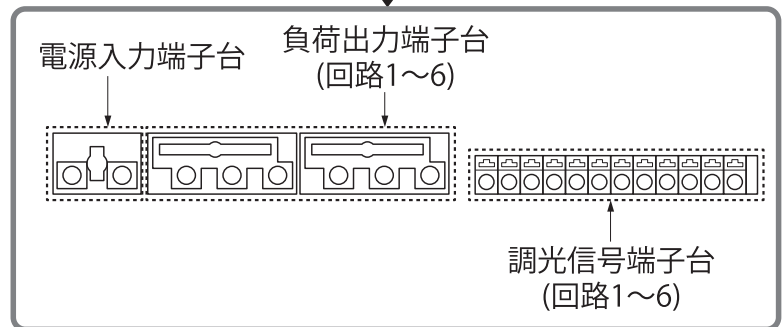
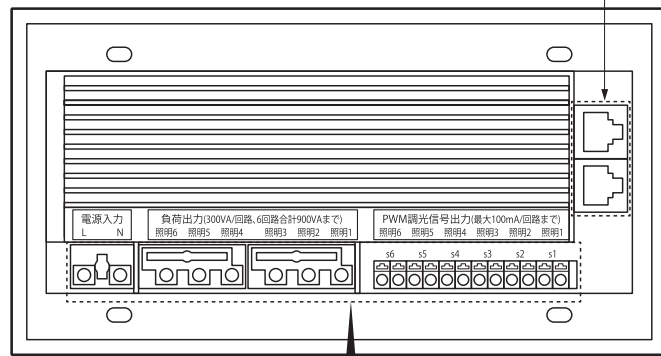
□ 単3形電池(2本)



□ 終端コネクタ

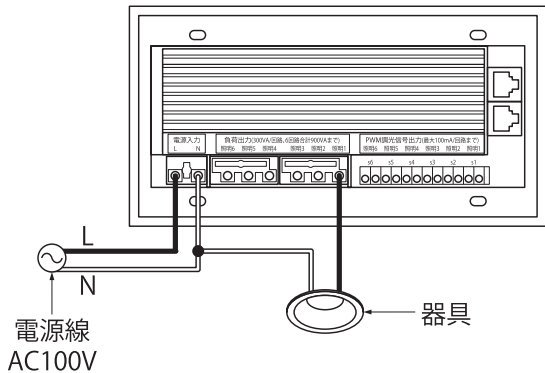
### <本体裏面>

LANケーブル・  
終端コネクタ差込口

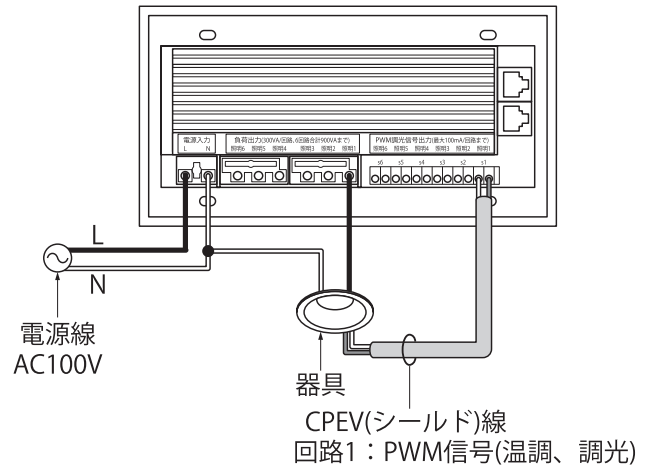


配線図

- <LED調光(位相制御)>
- <白熱灯調光(位相制御)>
- <ON-OFF>



- <LED温調(PWM制御)>
- <LED調光(PWM制御)>
- <蛍光灯調光(PWM制御)>



<LED調色・調光(PWM制御)>

※調色・調光器具を複数回路接続する場合  
器具の電源線(L)は、必ず調光信号線と  
同じCHに接続してください。

(例：右図を参考)

器具A：PWM信号(調光)を照明1(s1)に接続  
PWM信号(調色)を照明2(s2)に接続  
電源線(L)は照明1に接続  
※照明2には電源線を接続しない

器具B：PWM信号(調光)を照明3(s3)に接続  
PWM信号(調色)を照明4(s4)に接続  
電源線(L)は照明3に接続  
※照明4には電源線を接続しない

配線方法については、下記ウェブサイトも  
ご参照ください。



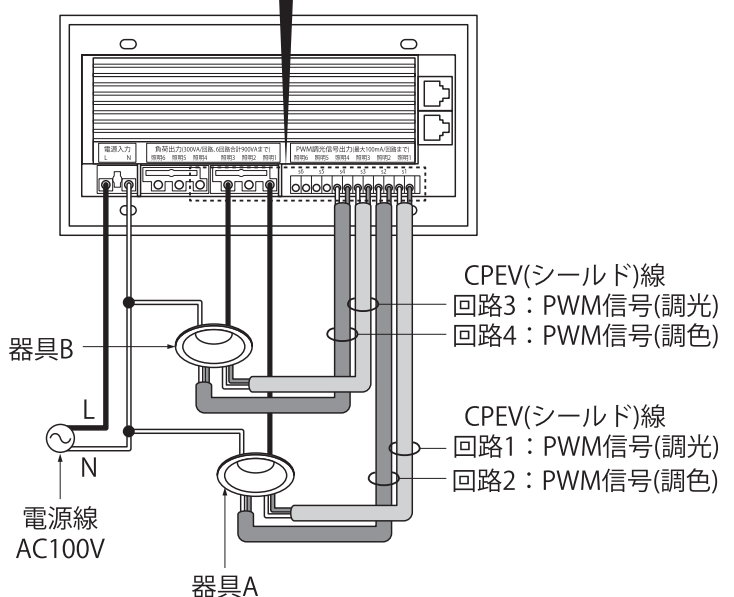
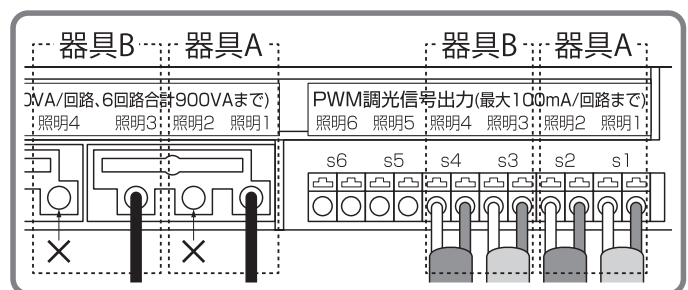
PWM調光調色器具の  
配線例写真

[https://www.lighting-daiko.co.jp/39093\\_wiring.pdf](https://www.lighting-daiko.co.jp/39093_wiring.pdf)



6回路シーンコントローラー  
かんたん！ガイド  
(施工編)

[https://www2.lighting-daiko.co.jp/support/function/pdf/controller\\_guide\\_circuits\\_construction.pdf](https://www2.lighting-daiko.co.jp/support/function/pdf/controller_guide_circuits_construction.pdf)

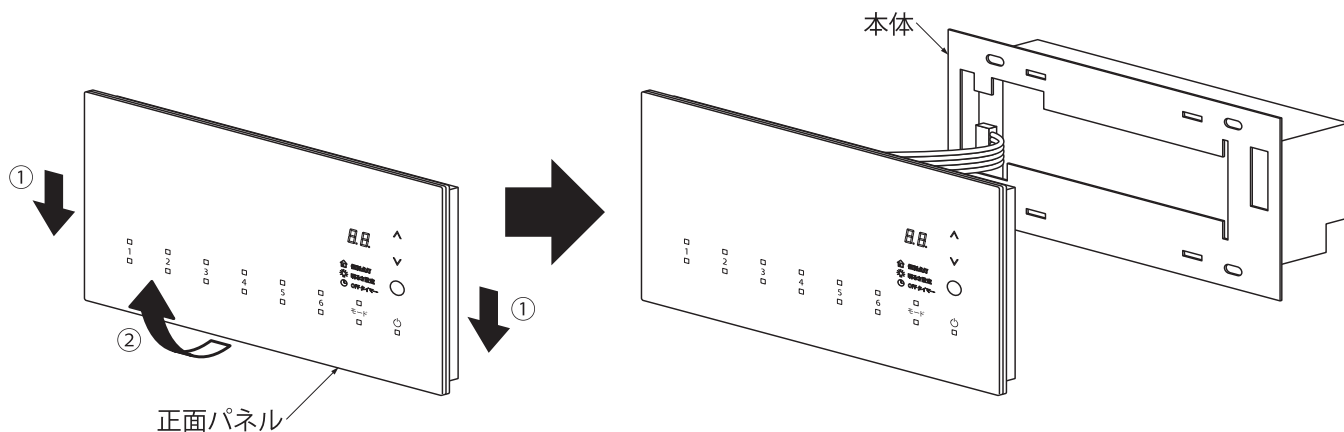


## 施工手順

安全のため、電源を切ってから行ってください。

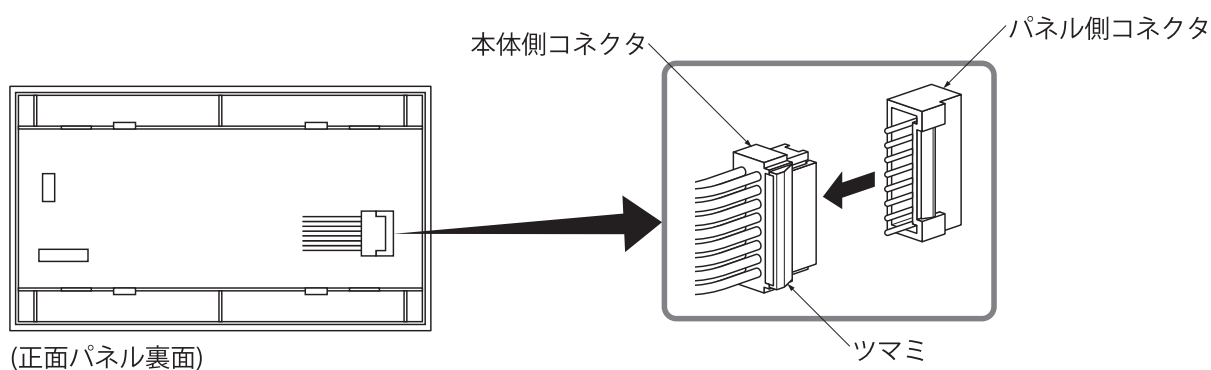
### ① 正面パネルを取外す

- 正面パネルを少し押し下げ、正面パネルの下部を手前に引っ張り、本体から正面パネルを取外してください。



### ② コネクタを取外す

- 正面パネル裏面のパネル側コネクタから本体側コネクタを取外してください。  
※本体側コネクタを取外す際は、ツマミを押しながらゆっくりと引き抜いてください。

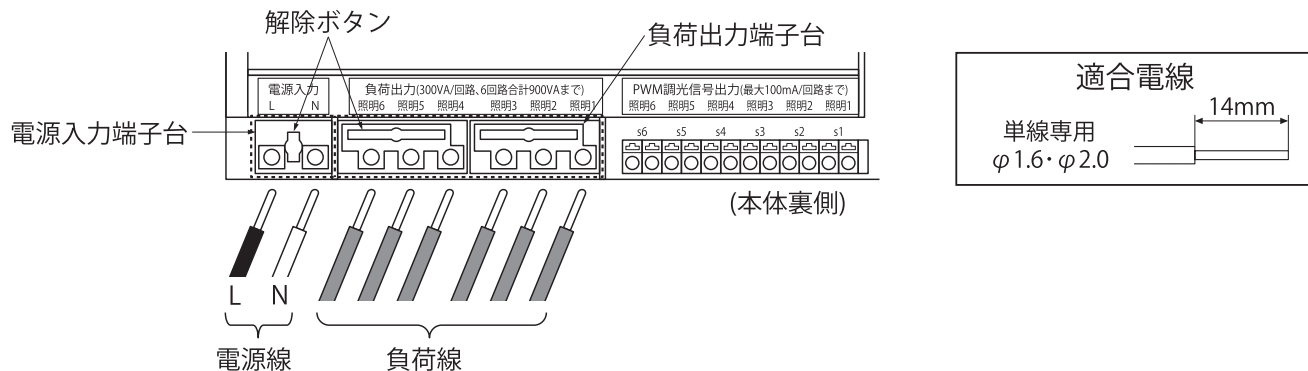


#### ⚠ 警告

ツマミを押さずに本体側コネクタを引っ張った場合、破損・故障の原因となります。

### 3) 電源線・負荷線を接続する

- 電源線を電源入力端子台、負荷線を負荷出力端子台に適切、確実に差し込んでください。
- ※本器はニュートラル線が必要です。必ずニュートラル線を電源線のN側に接続してください。
- ※照明器具からのニュートラル線は外部で接続する必要があります。接続にはジョイントボックスを使用してください。(金属ボックス内で接続することはできません。)
- ※ニュートラル線は1ヶ所でまとめて接続してください。外来ノイズによるちらつきの原因となります。
- ※配線についてはP.S6をご参照ください。

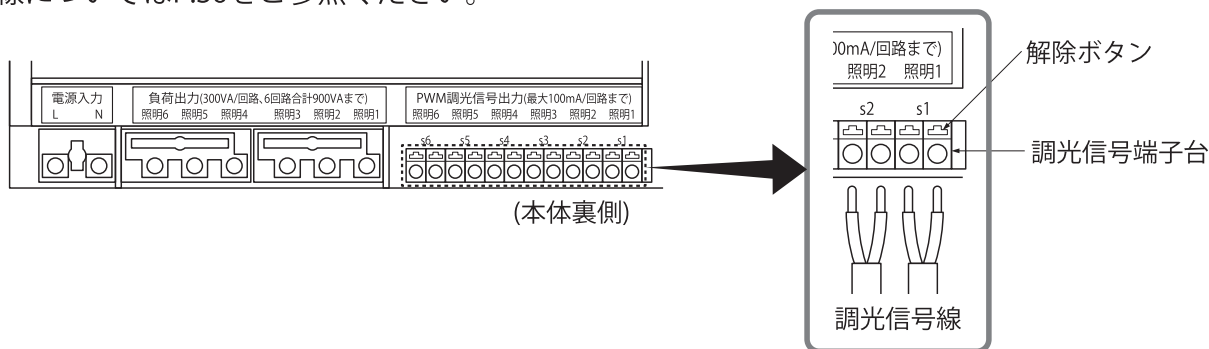


電源線・負荷線を取外す場合は、ドライバー等で解除ボタンを押しながら、電源線・負荷線を引き抜いてください。

### 4) 調光信号線を接続する

<LED(PWM制御タイプ)調色・調光タイプ/温調タイプ、LED(PWM制御調光タイプ)、蛍光灯(PWM制御調光タイプ)を使用する場合>

- 調光信号線を調光信号端子台に適切、確実に差し込んでください。
- ※調光信号線は1回路あたり100m以内にしてください。
- ※配線についてはP.S6をご参照ください。



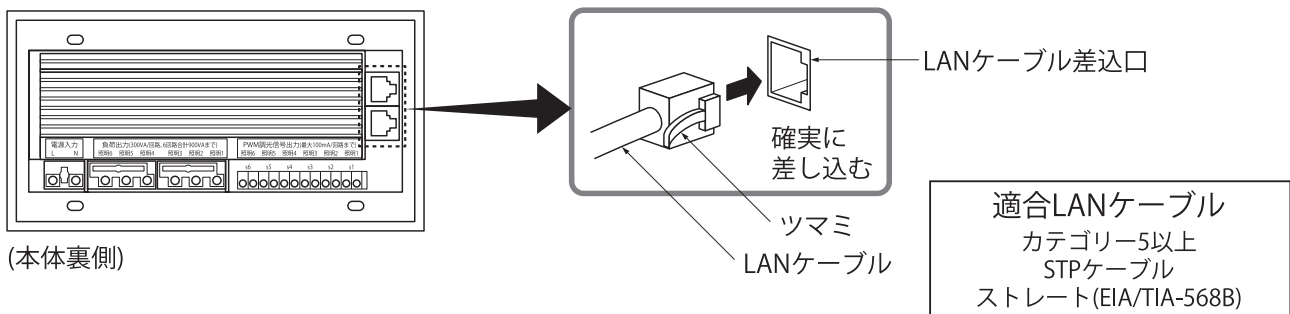
※調光信号に極性はありません。

調光信号線を取外す場合は、ドライバー等で解除ボタンを押しながら、調光信号線を引き抜いてください。

## 5) LANケーブルを接続する

＜シーンコントローラー、シーンコントローラー子器、ブースターを連動させる場合＞

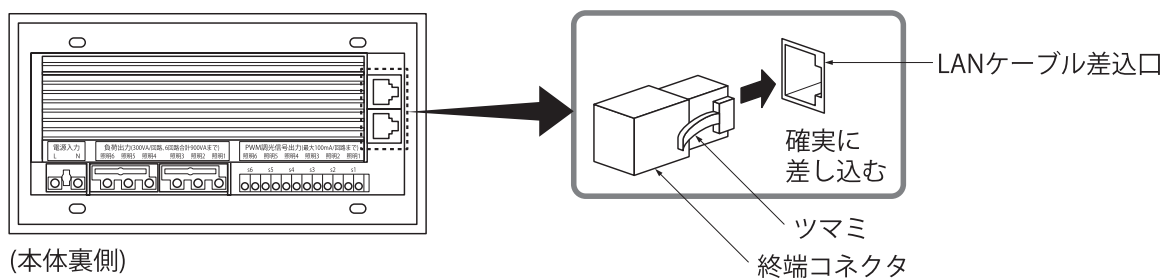
- LANケーブルをLANケーブル差込口に確実に差し込んでください。
- ※LANケーブルは短絡させないでください。本器が故障する原因となります。
- ※LANケーブルの総配線長さは50m以下にしてください。
- ※LANケーブルはスイッチングハブ等で分岐させないでください。故障の原因となります。
- ※連動台数は、シーンコントローラー3台+シーンコントローラー子器10台までです。
- ※LANケーブルは器具には付属していません。別途ご用意ください。



LANケーブルを取外す場合はつまみを押しながら引き抜いてください。

## 6) 終端コネクタを取付ける

- 終端コネクタを使用していないLANケーブル差込口に確実に差し込んでください。
- 子器、ブースターを使用しない場合は上下いずれかの差込口に取付けてください。

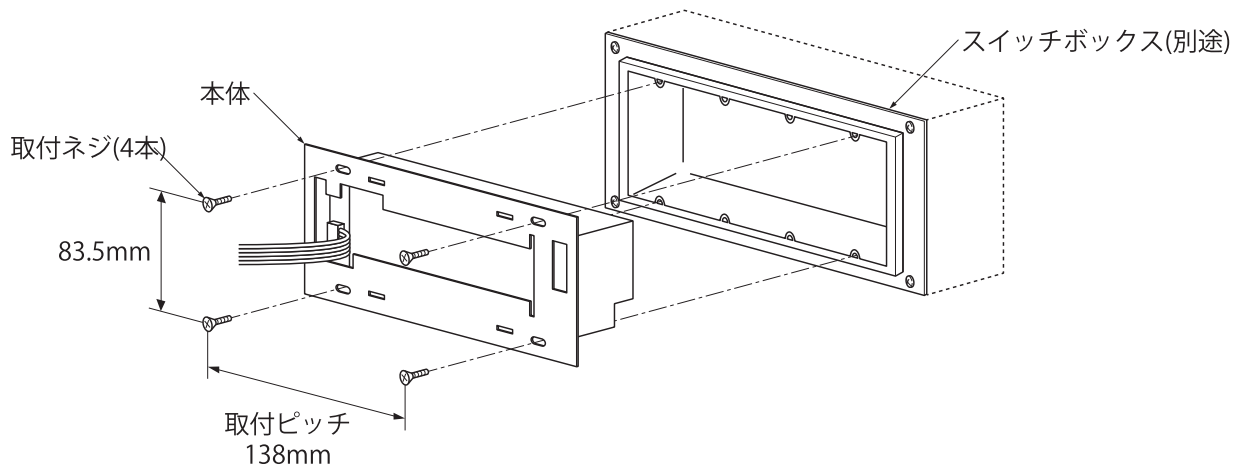


終端コネクタを取外す場合はつまみを押しながら引き抜いてください。



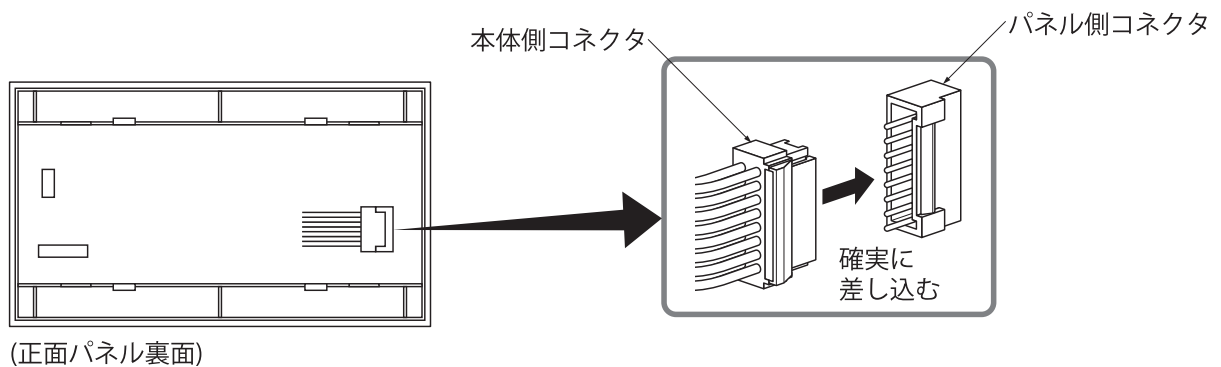
## 7) 本体を取付ける

- 本体をスイッチボックスに合わせ、取付ネジ(4本)で確実に締め付け固定してください。  
※スイッチボックスは器具に付属していません。別途ご用意ください。



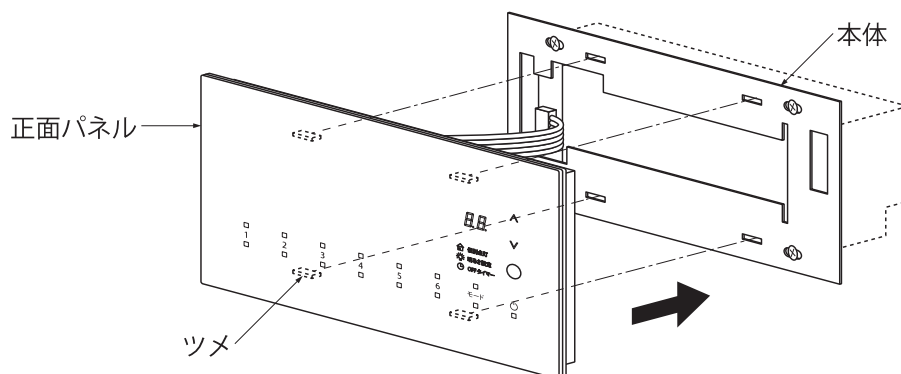
## 8) コネクタを取付ける

- 正面パネル裏面のパネル側コネクタに本体側コネクタをカチッと音がするまで押し込み、確実に取付けてください。



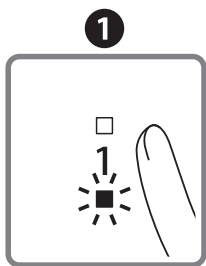
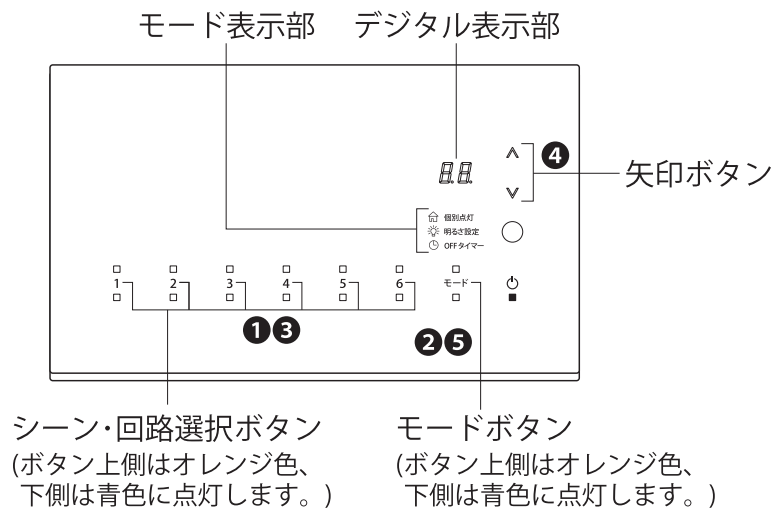
## 9) 正面パネルを取付ける

- 正面パネルのツメを本体に合わせ、確実に取付けてください。  
※正面パネルを取付ける際、本体と正面パネルをつなぐ線をはさまないようにご注意ください。

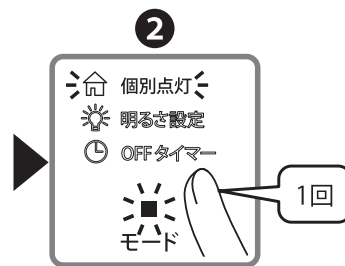


## 点灯確認

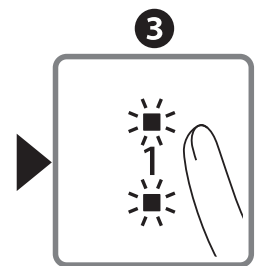
- 1回路ごとに照明器具の点灯が操作できることを確認してください。
- 〔初期設定：L3 ON-OFFモード〕



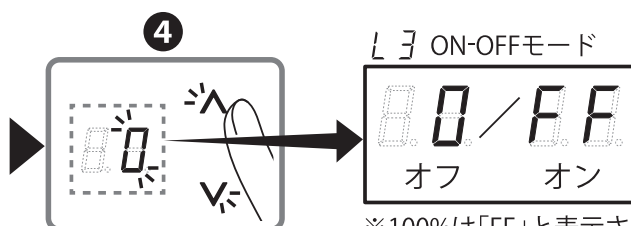
「1」～「6」ボタンいずれかをタッチしてください。



「モード」ボタンを1回タッチして「個別点灯」にします。

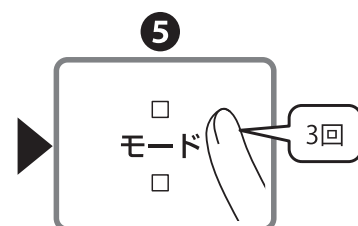


点灯確認したい回路(「1」～「6」)のボタンをタッチして選択します。



「矢印」ボタンをタッチして明るさを変更します。

※100%は「FF」と表示されます。

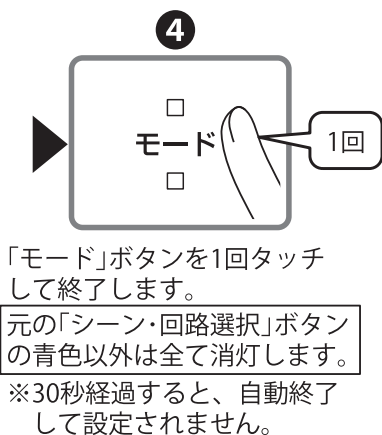
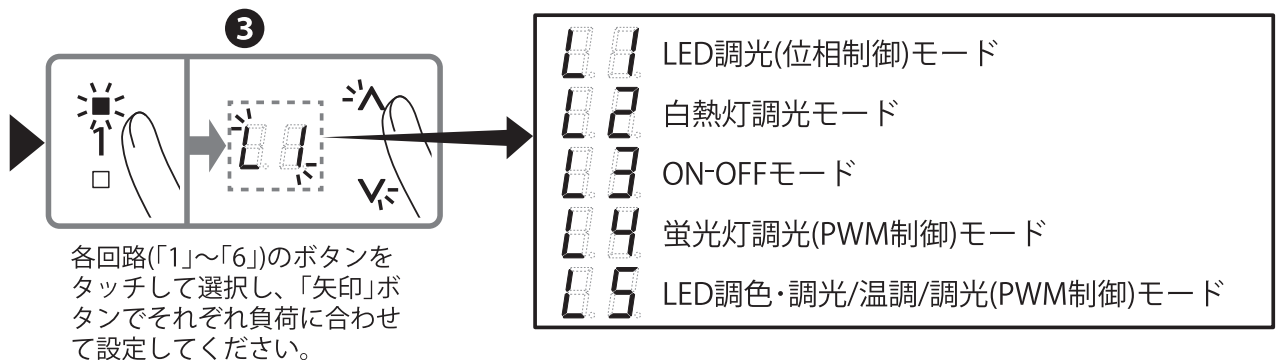
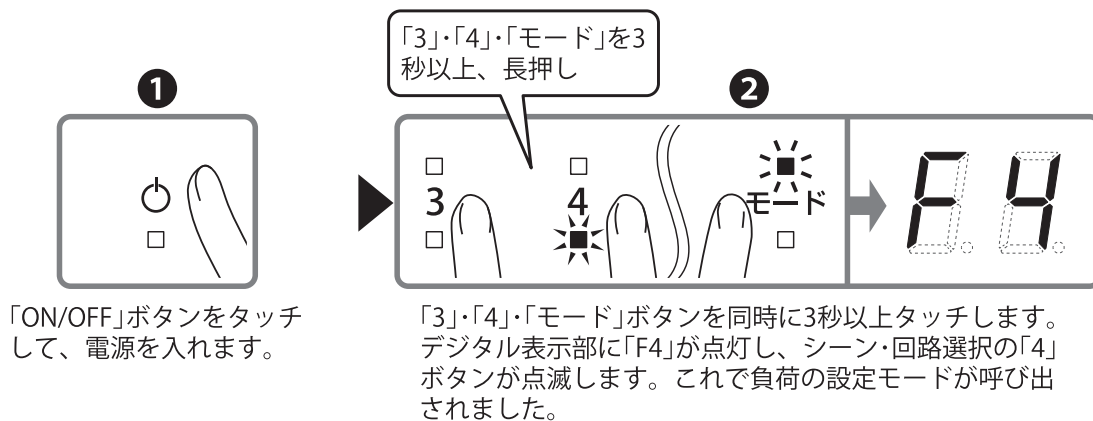
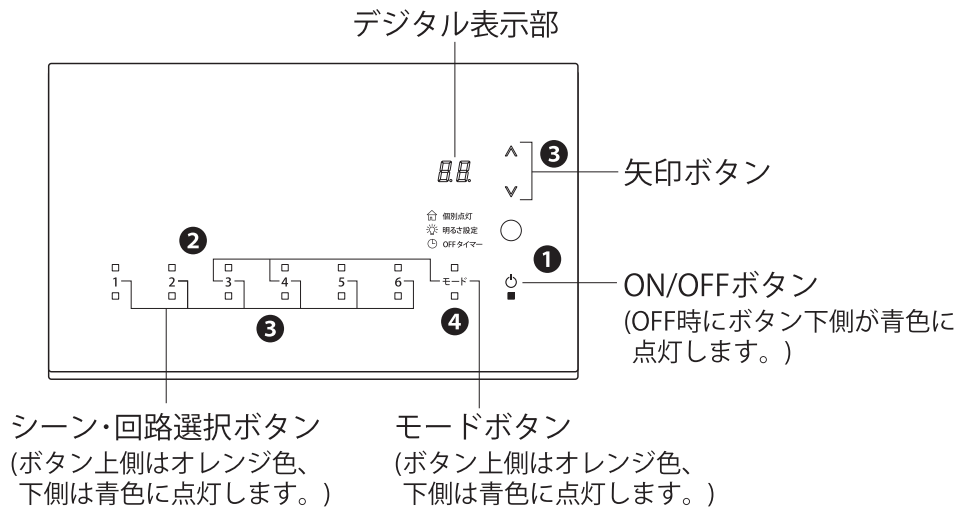


「モード」ボタンを3回タッチして終了します。

負荷の設定方法 ❶ 正常に動作させるために必ず行ってください。

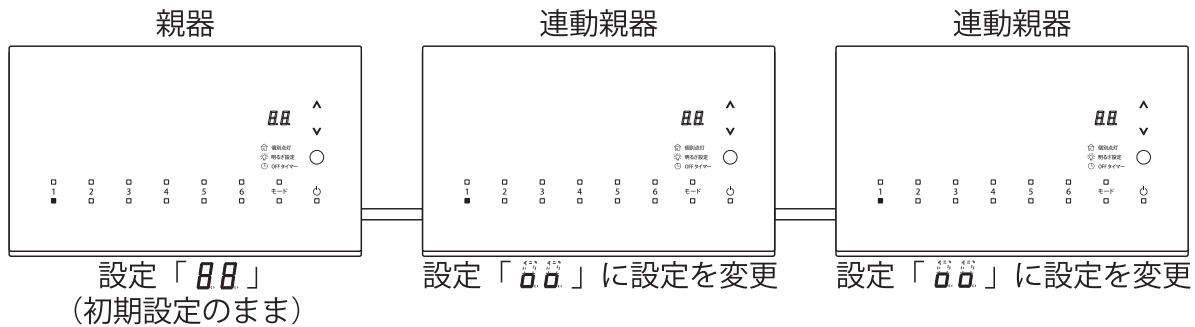
負荷設定をする

- 各回路の負荷モードを設定します。
- 〔初期設定：L3 ON-OFFモード〕
- ※負荷設定を正しく行わないと照明器具は正しく点灯しません。



## 複数のシーンコントローラーを連動させる場合(シーン連動)

- 複数のシーンコントローラーを接続して、シーンを連動動作させることができます。(3台まで)  
シーン連動機能をご使用になる場合は、連動させるシーンコントローラーの連動親器設定を行ってください。
- 〔初期設定：親器〕  
※設定方法はP.S14をご参照ください。



### ●名称について

親器  
親器モードに設定したシーンコントローラー  
連動親器  
連動モードに設定したシーンコントローラー

### ●親器モード・連動モードについて

初期設定は親器モードになっています。連動させるシーンコントローラーを連動モードに設定してください。

### ●連動台数について

連動台数は3台までです。  
(1台を親器、2台を連動親器に設定します。)  
※4回路シーンコントローラーと6回路シーンコントローラーを混在して連動させることはできません。

### ●ブースターについて

親器に接続している6回路のみ、ブースターで負荷容量の増設が可能です。  
ブースターは親器の設定に従います。  
連動親器の回路とは連動しません。

### ●負荷設定について ※

親器、連動親器のそれぞれで設定を行ってください。

### ●シーンコントローラーモード・ライトコントローラーモードについて

シーンコントローラーモードのみ使用可能です。  
ライトコントローラーモードでの連動は使用できません。

### ●シーン数について

連動させても記憶できるシーン数は増えません。

### ●明るさの設定について ※

親器、連動親器のそれぞれで設定を行ってください。

### ●OFFタイマーについて ※

親器のみで設定可能です。連動親器ではモードボタンを押しても「OFFタイマー」には切り替わりません。

### ●シーンの切替時間について (フェード) ※

同じシーンでも親器、連動親器で別々の切替時間に設定できます。親器、連動親器のそれぞれで設定を行ってください。

### ●リモコンチャンネルについて ※

親器、連動親器それぞれで設定することが可能です。

### ●電源の入切・シーン呼び出しについて

親器、連動親器のどちらの操作ボタンを押しても連動して動きます。  
それぞれ別のシーンを呼び出すことはできません。(例：親器シーン1、連動親器シーン2)

### ●明るさを一時的に変える ※

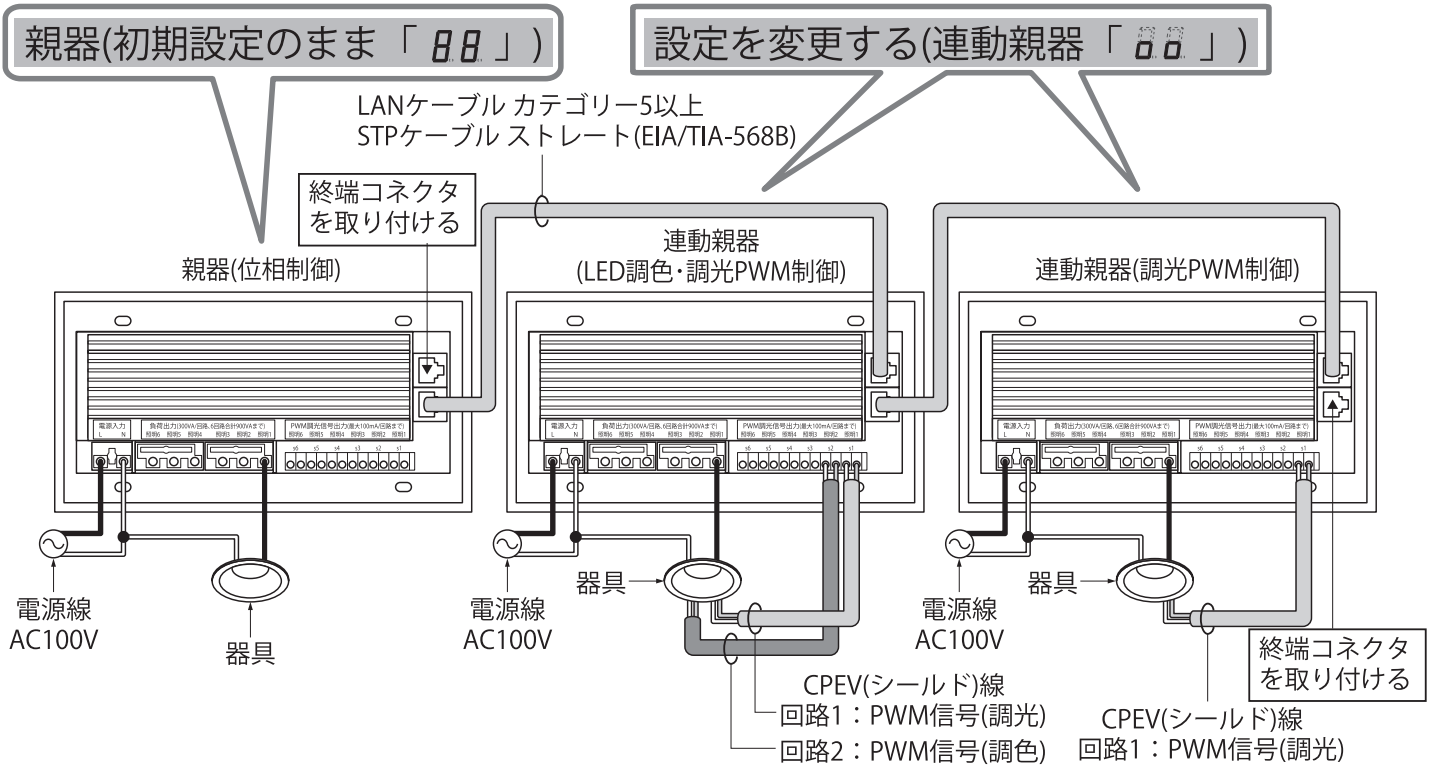
親器、連動親器それぞれで明るさを一時的に変えることができます。

※マークが付いている操作を親器または連動親器で行っている時は、操作していないシーンコントローラーはモードボタンのオレンジ色が点滅します。点滅中はシーン選択や電源OFFの操作を行うことはできませんが、設定操作やモード変更は行うことができます。

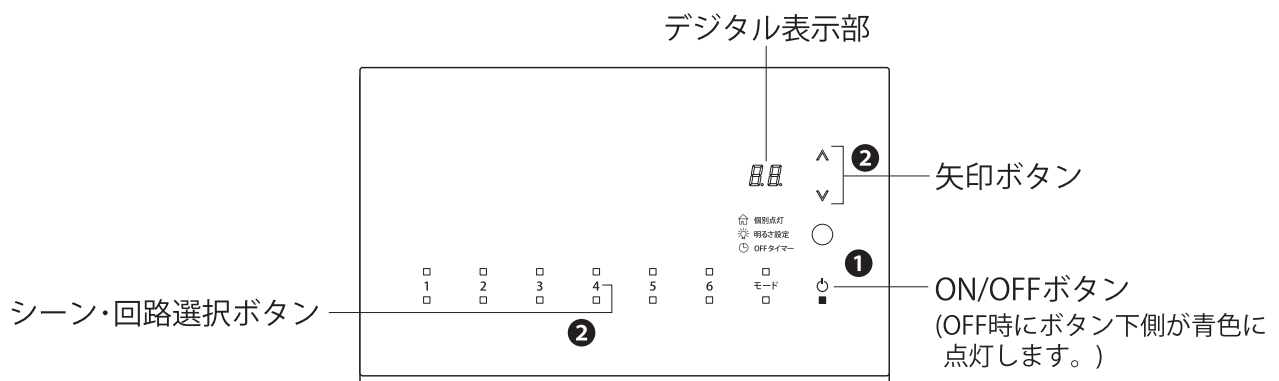
＜シーンコントローラー同士を連動させる場合＞

連動親器に設定する

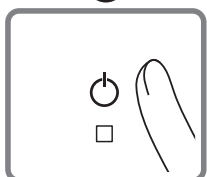
- 連動システム内に親器は1台としてください。
  - 拡張させるシーンコントローラーを連動親器「**00**」に設定してください。
- ※シーンコントローラーモードでのみ使用可能です。ライトコントローラーモードでは使用できません。



連動親器に設定する〔初期設定：親器「**88**」〕



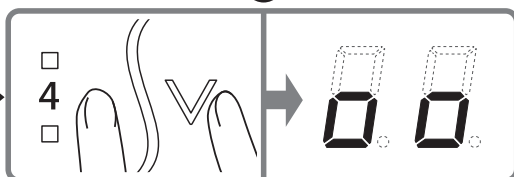
1



「ON/OFF」ボタンをタッチして、電源を入れます。

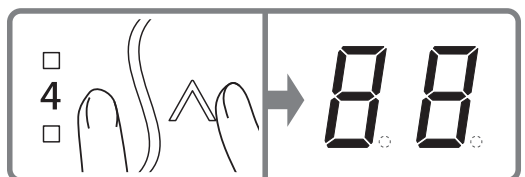
2

〔連動親器〕



「4」・「V」ボタンを同時に3秒以上タッチします。デジタル表示部に「**00**」が点灯し、連動親器に設定されます。

＜連動親器を解除する場合＞〔親器〕



「4」・「^」ボタンを同時に3秒以上タッチします。デジタル表示部に「**88**」が点灯し、親器に設定されます。

## 適合負荷

●接続する負荷によって負荷設定をする必要があります。

※リモコン照明器具、センサー機能付照明器具、プルレス機能付照明器具は接続できません。

※設定方法はP.S12をご参照ください。

断熱施工なし 6回路合計 900VAまで

	ON-OFF	調光	PWM調光	接続可能容量(1回路あたり)	
				調色・調光で使用(2回路使用)	調色のみで使用(1回路使用)
LED(PWM制御タイプ) 調色・調光タイプ	×	×	○	器具台数20台(*)まで、但し300VAまで	
LED(PWM制御タイプ) 温調タイプ	×	×	○	器具台数20台(*)まで、但し300VAまで	
LED(PWM制御調光タイプ)	×	×	○	器具台数20台まで、但し300VAまで	
LED(調光タイプ)	○	○	×	1台～300VAまで	
LED(非調光タイプ)	○	×	×	1台～300VAまで	
LED電球タイプ	○	×	×	3灯～300VAまで	
LED DECO-S	○	○	×	3灯～300VAまで	
電球形蛍光灯	○	×	×	10灯まで	
蛍光灯	○	×	×	300VAまで	
蛍光灯(PWM制御調光タイプ)	×	×	○	300VAまで、但し器具台数20台まで	
白熱灯	○	○	×	300Wまで	

※まくちゃん、ひやくまるくんのL1200・L1500は、器具台数10台まで。

断熱施工あり 6回路合計 450VAまで

	ON-OFF	調光	PWM調光	接続可能容量(1回路あたり)	
				調色・調光で使用(2回路使用)	調色のみで使用(1回路使用)
LED(PWM制御タイプ) 調色・調光タイプ	×	×	○	器具台数10台(*)まで、但し200VAまで	
LED(PWM制御タイプ) 温調タイプ	×	×	○	器具台数10台(*)まで、但し200VAまで	
LED(PWM制御調光タイプ)	×	×	○	器具台数10台まで、但し200VAまで	
LED(調光タイプ)	○	○	×	1台～200VAまで	
LED(非調光タイプ)	○	×	×	1台～200VAまで	
LED電球タイプ	○	×	×	3灯～200VAまで	
LED DECO-S	○	○	×	3灯～200VAまで	
電球形蛍光灯	○	×	×	6灯まで	
蛍光灯	○	×	×	200VAまで	
蛍光灯(PWM制御調光タイプ)	×	×	○	200VAまで、但し器具台数10台まで	
白熱灯	○	○	×	200Wまで	

※まくちゃん、ひやくまるくんのL1200・L1500は、器具台数5台まで。

## 故障かな？と思ったら

現象	考えられる原因	処置
ボタン・表示部が点灯しない	電源線が正しく接続されていない。	電源線を確認し、正しく接続してください。
	電源線を誤って負荷出力端子台または調光信号端子台に接続している。	本器の安全機能が作動している可能性があります。電源を切って確認してください。壊れている場合は交換してください。
	負荷線を短絡させた。	本器が安全機能が作動している可能性があります。電源を切って確認してください。壊れている場合は交換してください。
操作できない	電源が切れている。	電源を入れてください。
	キーロックが設定されている。	キーロックを解除してください。 (取扱説明書 P.15参照)
LEDが調光できない	LED調光モード(L1)に設定されていない。	LED調光モード(L1)に設定してください。 (負荷設定をする P.S12参照)
LEDがちらつく	白熱灯調光モード(L2)に設定されている。	LED調光モード(L1)に設定してください。 (負荷設定をする P.S12参照)
	適合していない負荷が接続されている。	適合照明器具に交換してください。
白熱灯が調光できない	白熱灯調光モード(L2)に設定されていない。	白熱灯調光モード(L2)に設定してください。 (負荷設定をする P.S12参照)
蛍光灯が調光できない	調光可能な器具が接続されていない。	調光可能な器具に交換してください。
	蛍光灯調光モード(L4)に設定されていない。	蛍光灯調光モード(L4)に設定してください。 (負荷設定をする P.S12参照)
	調光信号線が接続されていない。	調光信号線を正しく接続してください。
蛍光灯がちらつく	適合していない負荷が接続されている。	適合照明器具に交換してください。
あかりがちらつく	電源が単相3線の場合で消費電力が1kw以上の機器がある。	電源の相を分けてください。
子器が操作できない (子器のON/OFFボタンが点滅している)	子器のキーロックが設定されている。	子器のON/OFFボタンを長押ししてキーロックを解除してください。
子器・ブースターの表示部が点滅している	信号線の断線または誤接続。	親器、子器・ブースターのLANケーブルを差し込みなおしてください。
		適合LANケーブルではない可能性があります。LANケーブルを見直してください。
	連動親器になっている。	連動親器を解除してください。 (連動親器に設定する P.S14参照)